にいはお

第34号

箜篌

2012年

川口市日本中国友好協会

川口中国語教室

言葉で結ぶ友好の絆

川口市日本中国友好協会
理 事 長　栗原　喜一郎

沈黙の海

鉄骨だけを残して
空洞になった
ドラッグストアの向こうに
たくさんの命を呑んだ海が
ゆらりゆらりと
揺れている

　春の光を
　まぶしく返しながら

ゆらりゆらりと
揺れている

宮城県在住、元中学校校長の菊田郁先生の東日本大震災の追悼詩集「沈黙の海」巻頭詩である。このたびの大震災から一年余り過ぎたが、私はまだ被災地に訪れていない。川口市日中を始め幾つかのボランティア等の団体を通じて義援金を送りましたが。

テレビの画面で瓦礫の山を見て、その惨状はすべて解っていたつもりであったが、このたび「沈黙の海」を読んで、被災地の人々の苦しみ、新たな悲しみを知った思いだった。“詩”によって、作詞者の心が通じたのだ。エッセイもよいが、心が通じるのは詩であると思う。同じ詩であっても、日本語の新体詩だから私の心を打ったので、漢詩、英・独・仏語詩等の外国語の詩では、その知識の乏しい私にはここまで感銘しないであろう。

感情、思い、心を言葉にし、その言葉を文にして送る、そして綴られた文を読む。それによって、人の心を知り、理解ができる。言葉、文字、文の読み書きが人と人との心の絆を結び、友好・親善が深められるのだと思う。ここに「語学を学ぶ必要性が生じる」のだと、改めて知った。

英語の教師が、私が中学４年のときの担任だった。昭和20年敗戦の年である。激戦が続き、国民総動員のとき「予科練」「予科兵学校」を受験するため願書をもらいに行くと、「召集され戦地に行っているお兄さんに相談したか？　手紙を出して、返事が来てから取りに来い」と言われた。返事が来たとき、すでに願書は締め切られていた。敗戦を予想していたのかと思った。英語教師だから国際的視野で考え、敗戦を予想できたのだろう。

坂本隆太郎顧問が川口市日中総会の開会十数時間前に亡くなった。川口市日中の創立者、中国語教室の開講者である。物事を国際的視野で考えて、国際平和を推進し、中国との友好・親善を深めるためには「語学を身につける必要性がある」と説いて開講した。その意思を継いで中国語教室代表をはじめ、スタッフ、幹事一同の努力により、今年は35年目を迎えた。さらなる発展を願う。

「義を見てせざるは勇無きなり」

川口市日本中国友好協会
事務局長　　加藤　展裄

先日友人の孫の中学生に「君は孔子を知っているか」と問うと知らないという。今の子供達は受験勉強でそんなことは関係ないかと思う。改めて調べてみると孔子は 2500 年前の人で当時日本は縄文時代である。当時中国は鉄器が普及され、畑を耕す農具は農業を飛躍的に発展させた。生活が潤い、交易をめぐって諸侯（氏族国家）は皮肉にも文明の起源である鉄器を武器に変えて対立抗争を繰り返すようになる。いわゆる春秋時代である。そんな乱れた環境を憂えた孔子は、世の秩序を保つために道徳を重んじて儒学の始祖となる論語を表した。

「義を見てせざるは勇無きなり」はその論語の一節である。私の両親は明治末期の生まれで、孔孟の教えは当時の私には有難くもなく何度も聞かされている。親に教わった孔子の教えがいかに正しくても今の世は欺瞞に満ち溢れ、その欺瞞には作為のもとに手もなくやられてしまう無防備な論理に思える。「義」とか「勇」は人格が伴う言葉で使う人により判断の難しい言葉である。

「義を見てせざるは勇無きなり」の言葉を私はずうっと胸の内にしまいこんできた。自己研鑽に努めて耐えて内なる心にしまいこめるうちは良いが、他人に律を求めたらどうなるか。まして義と勇とを人に伝えるのは今までは味わったことのない外への憤懣やるかたない感情が高ぶる。

「働けど働けど我がくらし楽にならざりじっと手を見る」、これでへこたれてしまえばそれまでで、本当はこれからが出発点で知恵と勇気の人生になっていくであろうと思う。

260 年前江戸幕府が倒れ鎖国が解かれ、武士が支配した縦割りの封建制度の仕組みが外れた状況、まさに新しい混迷の情報ラッシュの中にいる。「ざんぎり頭をたたいてみれば、文明開化の音がする」の言葉とともに庶民は目標を失い救いを求めていた。そこに登場したのが福沢諭吉で「学問のすすめ」に表している。自ら助くる者を助く、弱き者に光を当てる。それは自助の精神、自助努力、独立自尊と喚起した。この言葉を全体像と捉えて一言で表すと今の日本は普遍的な言葉に突き当たるのではないかと思う日々である。

県日中を立ち上げ、川口日中では組織作りから結成まで多大な情熱を注がれ、中国語教室開設、中国友好訪問団派遣、貴州希望小学建設、「にいはお」発行、たたら祭り水餃子実演販売、小学生親子の中国大使館訪問、中国語スピーチコンテスト参加、中国映画鑑賞会など日中友好にその生涯を捧げられた坂本隆太郎さん、私たちは草の根運動の灯をともし続けます。

「にいはお」第34号発刊にあたって

川口市日本中国友好協会
川口中国語教室代表　本多路子

2月11日川口市日中友好協会の総会と懇親会の当日二件の訃報がもたらされました。一件は前日の夜、川口日中の前副会長で顧問の坂本隆太郎氏が逝去されたこと、もう一件は当日の朝、前川口市長であり川口日中の前会長で名誉会長の永瀬洋治氏が逝去されたことでした。開会の前、お二人のご冥福を祈り黙祷をささげて、会は滞りなく開催されました。永瀬さんは1999年度に名誉会長になられて以来、懇親会ではよくカラオケを歌われていたお姿を思い出します。坂本さんには、私がこの中国語教室を初めて受講した開講式の日、栄町公民館でお会いしました。当時は理事長として開講式に出席されていたのですが、会場の真ん中でニコニコしながら新受講生を迎えてくれたことが忘れられません。それから当時行われていた、オリンピックセンターでの一泊研修会や日光へ行った中国語教室一泊研修旅行など深く心に残っております。思い出は尽きませんがお二人のご冥福を心からお祈りいたします。

さて、中国語教室の機関誌「にいはお」も34号となりました。私が初めて手にした「にいはお」17号は手作りでした。27号までは発刊日近くの日曜日に、各クラス幹事や有志が教室に集まり、みんなで製本をして発刊していました。懐かしく思い出されますが、みんなが協力した手作りというよさがありました。2006年からは前田さん、市東さん、田村さんが「にいはお」担当となり原稿までは自分たちで作り、その後のことは印刷会社に依頼するようになりました。発刊は楽になりましたが製本に携わらなくなった分「にいはお」に対する愛着がうすれてきたのではないかと心配にもなります。「にいはお」制作にあたり一番困ることは原稿がなかなか集まらないことです。受講生の皆さんもいろいろお忙しいこととは思いますが、毎年のことなのでご協力よろしくお願いいたします。

今年は昨年からの東日本大震災の影響を受け、栄町公民館の金曜日の夜入門Bクラスの開講が7月6日となりました。よって、この34号には入門Bクラスの資料は掲載されません。クラスが開講されてから名簿を配りますのでご了承ください。

目　　次

言葉で結ぶ友好の絆　理事長　栗原喜一郎　1
「義を見てせざるは勇無きなり」　事務局長　加藤　展裄　2
「にいはお」第34号発刊にあたって　教室代表　本多　路子　3

入門Ａクラス
クラス紹介　森　基悦・後藤和可子　7
老師プロフィール　唐　光蓮
老師的一句　书读百遍，其意自见　唐　光蓮
《訳》読書百遍、義自ら通ず　8
受講生随筆　何か学びたい　高橋モリ子　9
中国語を学び始めて　伊藤　鉄哉　10
「発音がうまくなりたい！」　佐藤　仁志
中国語を始めた動機　叶野　一雄　11
中国語はじめました！　関　健二
中国語を学ぼう！？　日高　靖子

初級Ａクラス
クラス紹介　佐藤　正子　12
老師プロフィール　鲍　萍
老師的一句　关于汉字　鲍　萍　13
《訳》漢字に関して　14
受講生随筆　日中友好切手　鈴木　初枝　15
再びの你好！　三浦智恵子
中国旅行で中国語を話せたら！　大橋はつ子　16
互相笑学习汉语　石原美和子

初級Ｂクラス
クラス紹介　波田野勇治　17
老師プロフィール　丁　菁
老師的一句　来日20年　丁　菁
受講生随筆　2年目を迎えての抱負　石井　克昌　18
成都への旅　波田野勇治　19
ついに中国へ　三宅　悠汰　20

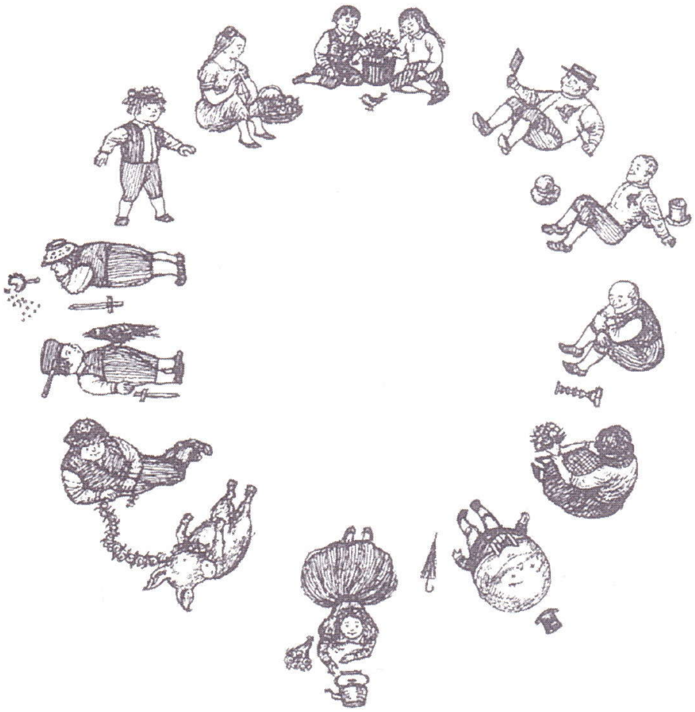
西公民館火曜夜クラス
クラス紹介　青沼　利興　21
老師プロフィール　张　凡
老師的一句　樱花情结　张　凡　22
《訳》桜への思い
受講生随筆　盘古开天　井上不二子　23
《訳》盤古が天を開く　24
我们的急性子教练　井上不二子　25
喜欢吃的东西　杉浦　契子
《訳》好きな食べ物
上海的烤鱼　有賀　利男　26
《訳》上海の焼魚
听广播学习的事　青沼　利興
《訳》ラジオ放送を聞いて学ぶという事　27
节能灯是真是假　木村　真弓　28
《訳》LEDランプうそほんと
蛐蛐儿在鸣的整骨医院　林　紀代　29
《訳》コオロギが鳴いている接骨院
充实理想的旅游 夏威夷岛的三天和欧胡岛的三天　早川　守男　30
夢旅行　ハワイ島３日間＆オアフ島３日間　市東　文子　31

協会水曜朝クラス
クラス紹介　佐々木由利子　35
老師プロフィール　鲍　萍
受講生随筆　我介绍一下我参加的彩虹桥会　佐々木由利子　36
《訳》私が参加しているかけはし会を紹介する　37
高兴的梦　佐々木由利子　38
《訳》楽しい夢
朱家角的回忆　高塚　俊代

栄町水曜夜クラス			
クラス紹介		林　芳男・石井　勘之	39
老師プロフィール		王　錦涛	
老師的一句	缘	王　錦涛	40
	《訳》縁		
受講生随筆	セピア色の色紙	川俣　明子	41
	「チャイナタウン神田」	林　芳男	42
協会木曜朝クラス			
クラス紹介		定兼　雅義・長島　悦子	44
老師プロフィール		小原　春輝	
老師的一句	每天有一些感动	小原　春輝	45
受講生随筆	母と娘と中国語	小林　桂子	46
	上海有一个不可思议的博物馆	小林　直美	47
	勿改初志	后藤和可子	
	《訳》初心にかえって		
	我和中国	白根　晴代	48
	《訳》私と中国		
	“活到老 学到老”	长岛　悦子	
	有没有快乐的刺激?	土屋　孝一	49
	《訳》楽しい刺激がありますか?		
	活到老 学到老	森　基悦	50
	《訳》命ある限り学ぶ		
協会木曜夜クラス			
クラス紹介		田村　由美	51
老師プロフィール		王　梅	
老師的一句	桂花飘香的时节	王　梅	
	《訳》金木犀の香りが漂う頃		52
受講生随筆	2011年　曲阜・泰山・済南の旅	田村　由美	53
協会金曜朝クラス			
クラス紹介		黒澤　宣捷	58
老師プロフィール		唐　光蓮	
老師的一句	登泰山看日出	唐　光蓮	59
	《訳》泰山で日の出を拝む		60
受講生随筆	学汉语	黒澤　宣捷	61
	《訳》中国語の勉強		
	「地震的重建」“中国记者看日本”	加藤美智子	
	《訳》「震災後を歩く」“海外ジャーナリストが見た日本”		62
協会金曜夜クラス			
クラス紹介		長澤　博高・小山　実子	63
老師プロフィール		呉　英偉	
老師的一句	快乐学汉语	呉　英偉	64
受講生随筆	早いもので	矢澤　昭人	
	中国語教室と電脳塾	山田　絹子	65
	学汉语	加藤　恵一	
	日本的现状	加藤　展裄	66
	川口市的历史		
	《訳》日本の現状		67
	《訳》川口市の歴史		
	为什么?	石毛　嘉春	
	你好！LET' S温故知新！	佐藤　可成	68
	同学们	大場　純	69
	《訳》同級生		
日本語教室	黄山が呼んだ	平山　安次	70
	❀ オモテ表紙とウラ表紙の写真「箜篌」説明		43
	❀ 編集後記	市東　文子	72
2011年度　画報日中かわぐち		編集　前田　稔夫	73

2012年

受講生随筆



入門Ａクラス

《クラス紹介》

森 基悦・後藤 和可子

縁あって４月３日朝、協会教室に集まった男子４名、女子２名は、第35期入門Ａクラスの面々です。

女性優位の昨今では珍しく、男性の多いクラスです。志望動機はまちまちですが、一致しているのは「中国語を学ぼう！」とする熱意です。それに、経験豊かな唐光蓮老師を迎えてのスタートです。

条件は整いました。あとは外国語習得の為の四つの“キ”「暗記」「根気」「年季」「勇気」に今ひとつ「元気」を加えて邁進するだけです。

《老師プロフィール》

唐　光蓮

出身地	中国山東省
誕生日	7月29日
来日日時	1998年7月
中国出身校	中国人民大学
日本での職業	非常勤講師
家族	四人家族
趣味	登山，読書，旅行
来日理由	夫の仕事のため
血液型	O型

《老師的一句》

书读百遍，其意自见

唐　光蓮

---- 致学习汉语的朋友们

“书读百遍，其意自见”源于中国四大古典名著之一[三国志]， 意思是说

不论多么难的文章，只要反复多读，就会慢慢明白其中的意义。也就是说学习语言一定要多读、多背诵、多积累。中国自古以来，一直比较提倡背诵这一学习方法。即使现在，在中国的汉语、英语等语学教育中一直应用着这一方法。

回想起来，我现在能背诵下来的名诗、名句都要归功于我儿时背诵的结果。上小学时，背诵语文课文几乎是我们每周必有的作业。睡觉前我一边理解课文的内容，一边大声朗读几遍，早晨醒来时躺在床上像看电影一样在脑海里回忆一遍课文，起床后再读两、三遍，就能记住了。每读一遍，对课文内容的理解会有所加深；当时不太明白的古典诗句，随着年龄的增长，慢慢理解了其中的内涵。

后来这种方法又应用到了我的英语学习上，我初二时的英语老师要求我们背诵每篇学过的英语课文，我一直坚持了一年，直到更换新的老师为止。在反复大声朗读的过程中，许多好的句子能不自觉地脱口而出，不但省去了背单词的时间，还自然地掌握了文章的脉络、介词、短语的用法，培养了语感。这使我的英语学习乐趣无穷，受益匪浅!

众所周知每种语言都有它独特的表达和约定俗成，只有不断积累语言素材、活学活用、才能使口语表达、会话能力更上一层楼。成年之后的我们，身上肩负着许多重任，没有太多的时间专心学习，如果每天抽出哪怕五分钟的时间，读一读所学过的课文，也许会有意想不到的收获！ “书读百遍，其意自见”。不信你来试试看！

訳　読書百遍、義自ずから通ず

一中国語を学ぶ友達へ

「読書百遍、義自ずから通ず」というのは中国四大古典名作の一つ『三国志』の中にありました。どんなに難しい書物でも、何度も何度も読めば、理解できるようになるという意味です。つまり言語を習うために、たくさん読む、たくさん暗記する、それをたくさん積み重ねることが必要です。中国における学習方法の観念として、以前の中国では、一番良い学習方法は「読む、暗唱する」ことでありました。今でも、中国では中国語や英語などの言語教育にこの方法がよく使われています。

振り返ってみると、今私の覚えている有名な詩句はすべて子供時代に暗記した賜物です。小学校時代に、ほぼ毎週中国語の暗唱の宿題を出されていました。夜寝る前に本文の内容を理解しながら、大きな声で数回音読し、朝目が覚めたら、ベッドで本文の内容を思い出しました。起きて、また二、三回読んだら、もう覚えました。これは自分の勉強法の一つでした。何回も本文

を読んでいるうちに、本文の内容の理解が深くなり、当時分かりにくかった古典詩句も年齢とともに、だんだん分かるようになりました。

中学生になっても、この暗唱法をまた英語の学習に活用しました。中二の英語の先生にも学習した英文の暗唱を求められました。ほかのクラスメートが続けているかどうかは知りませんでしたが、自分は英語の先生が替わるまでずっと続けました。繰り返し読んでいる内に、自分がなかなか思いつかない良いセンテンスも口をついて出るようになりました。新出単語の暗記する時間を省くことだけではなく、文脈を自然に把握し、前置詞やフレーズの用法を身に着けたり、文のセンスを磨いたりすることができました。当時の私はまるで小さな魚のように英語の世界で自由自在に泳ぎ、思う存分楽しめました。幸せいっぱいでした。（しかし中三になったら、英語、数学、国語の先生方が入れ替わりました。新しい英語の先生との相性が合わなかったせいか、英文の暗唱を中断しました。当時の私は幼かったなあと今も後悔しています。でも英語を含む言語の勉強をする楽しさは忘れられません。）

ご承知のように、それぞれの言語には特有の表現やルール、定めがあります。絶えず言葉の素材を積み重ね、そして生活の中で応用することこそ、言葉の表現、コミュニケーションの能力をさらにレベルアップすることができるでしょう。大人になった私たちは、たくさんの責任を背負っていて、勉強に集中する時間があまりありませんが、毎日たとえ五分でも時間を見つけて、習った本文を朗読すれば、きっと思いがけない良い効果を収めることができるでしょう。「読書百遍、義自ずから通ず」。今からやってみましょう！

《受講生随筆》

何か学びたい

高橋　モリ子

仕事から離れ自由な時間が出来ましたので、何か学びたいと思っておりました。「広報かわぐち」で中国語教室を知りました。中国語は全くわかりませんが、教室の曜日と時間が都合良いというだけで、記憶力の衰えも考えずに申し込んでしまいました。

後から考えてみますと、中国語を選んで良かったと思います。ご近所に中国出身の方が２家族いらっしゃいます。来年は地区の班長の当番が廻って来ます。会話をしなければなりません。その方は日本語を話せる方とは思いますが、中国語で会話が出来たらうれしいです。先生もクラスの皆さんも素敵な方々で楽しいので頑張ってみたいと思います。

中国語を学び始めて

伊藤　鉄哉

中国語の発音が日本語とあまりにも違うのにびっくり。老師も幹事さんも発音は初めが肝心で、声調を正しくマスターしないと相手に通じませんよ、聞き取りもできませんよと繰り返し言われて、励ましてくれています。そういえば、初めて米国に行った時、自分の英語が全く通じず、相手の言うこともさっぱり分からなくて衝撃を受けたことがありました。まだ、本当に初めの一歩ですが、こんなに発音を熱心に教えていただけるとはラッキーと思いつつ、とにかく遅れないようについていこうと思っています。

3年前から太極拳と気功を始めましたが、いずれも中国語が色々出てきます。気功の鍛錬方法で、六字訣という六つの文字（嘘・呵・呼・呬・吹・嘻）を発声する功法があります。その中で「嘘」と「嘻」の発声は日本語で書くといずれも「シー」となるのですが、中国語では口の開け方がそれぞれ異なり、これはこうと言われるままにやっていました。今回ピンインを習い始めて、あいまいなところが補完できそうです。

定年退職して11年、71歳の手習いですが、楽しみながら少しずつ身につけられたらと思っています。

「発音がうまくなりたい！」

佐藤　仁志

私がこの講座に通い始めた動機は、以前ＮＨＫのラジオ講座で１か月ほど学びましたが、発音がうまくできず途中で挫折したからです。

今年 2 月に台湾に行ったことで、きちんと話せるようになりたいと再び思いたち、参加しました。

やはり中国人の先生から直接学ぶしか、発音は上手にならないとつくづく思いました。唐先生の教え方は非常に丁寧で、発音のミスもきっちり指摘してくださるので、助かります。

四声（特に２声と３声の違い）、そり舌音など難しい発音ばかりですが、世界にはこんな言語もあるのかと、「違い」そのものを楽しむように、お風呂場や通勤途中など暇を見つけては勉強しています。（声に出して練習していると、家族からは気持ち悪がられますが。）

いつか少しは中国語を話し、相手の話していることを理解できるようになるのかどうかは定かではありませんが、前に進んでいるうちは、つまり勉強しているうちは、その域に近づいていることを信じて頑張りたいと思います。

中国語を始めた動機

叶野　一雄

5年前、友人と桂林へ旅行に行きました。広州で乗り継ぎの際、現地ガイドと会えず、言葉も通じず、空港内で1時間半ウロウロし、途方に暮れていたとき捜しに来たガイドに発見され、無事に桂林に着くことができました。この時、言葉が解らない不自由さを痛切に感じました。

いつか再び中国に行き、現地の人たちと少しでも会話が出来ればと思っていたところ、市広報で中国語教室を知り参加させて頂きました。よろしくお願いします。

中国語はじめました！

関　健二

私は、国内外に中国人の友人がたくさんいます。彼等は皆日本語が堪能で、意思の疎通には事欠きません。

しかし、中国旅行の際食事会・買い物等で中国語が飛び交うなかで、言葉が理解出来ず孤独感を覚える事が多々ありました。前々から、中国語を学ばねばと思っているとき、市広報でこの講座を知り参加させて頂きました。

発音の難しさに戸惑ってはいますが、熱心な老師のご指導を受けて頑張っています。宜しくご指導下さい。

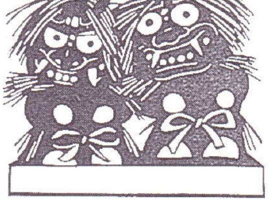
中国語を学ぼう！？

日高　靖子

今回中国語を学ぼうと思ったのは、ほんの軽い気持ちからでした。

昨年思うところがあって仕事を辞めました。好きに使って良い自由な時間がうれしくもありましたが、数か月経ち、頭が空っぽに！これではいけないと思い、たまたま見た広報に中国語入門の募集があり、以前から語学に興味もあり、さっそく申し込んだ次第です。

まだ始めたばかりですが、明るく元気な先生に励まされながら、頑張ろうと思います。



初級Aクラス

《クラス紹介》

佐藤　正子

今年度の初級Aクラス（青少年会館）は、昨年度の入門A修了者6名と初級Bクラス再受講者1名、そして新たな編入者3名、計10名のスタートでした。昨年度に続き、鮑老師のご指導のもと、70才以上パワー5名｛内、たった1人の男性（大事にします）｝、70才以下パワー5名。和気あいあいの雰囲気で始まりました。10名が一年間“学习汉语”の同学であることを願っています。皆様どうぞよろしくお願いいたします。

《老師プロフィール》

鮑　　萍

出身地	上海
誕生日	5月24日
来日日時	1992年
中国出身校	上海師範大学
家族	夫、息子
日本での職業	日本語講師・弁護士事務所アドバイザー
趣味	料理を作ること、文章を書くこと、ダンス
来日理由	夫が仕事で来日のため
夢	画商、エッセイ作家

《老師的一句》

关于汉字

鲍　萍

大家都知道汉字是很久以前从中国传到日本来的。来中国的日本人一看街上的招牌和餐厅的菜单，大致能明白所以可以松一口气。当然，中国人来日本，即使看不懂假名，看到汉字也会觉得很亲切。

但是经过漫长的岁月，日本的汉字，中国的汉字都起了变化。有上海的朋友相当仔细地调查了日本的汉字，比如说汉语的“免费”日语称作“无料”，“收费”称作“有料”。于是他拍着胸脯说：去日本完全每问题。确实从文字上看，“无料”即“料金无”，“有料”即“料金有”，可是如果作为中国的汉字，首先脑子里反应的是“材料无，材料有”。

这还算是容易懂的，也有看了半天不知所以然的。比如日语的“上手”在汉语里是“开始/顺利”之意；日语的“下手”在汉语里是“动手/助手”之意，意思完全不同了。“勉强”也一样，汉语里有“不满/强制”之意，多用于否定。但是日语里却是“学习”之意。把二者结合起来，可以悟到学习对于大多数人而言不是由衷欢喜的。

另外，还有发音相似容易引起误会的语言。朋友的丈夫胖乎乎的，朋友一直亲热地称他“胖子”。朋友刚来日本不久，去丈夫大学研究室玩，老远看见自己的丈夫，大声招呼：胖子！同学们忍禁不住：这年轻的太太还挺色。从此，这个笑话成为一个经典。

上次碰到一个在中国开工厂的日本人，他一年中有半年时间在上海，有时候得坐火车，广播里有这样一句话：本次列车。无论怎么听，都是日语的“ベンチレーター”的发音，而且所有的日本人同事都有同感。

相同意思的文字，不同意思的文字，容易引起误解的发音还有很多，语言越学越有趣味。

现在，上海的大街上经常能看见原滋原味的日语的汉字，假名。眺望着招牌上极有情趣的文字，就算看不懂也觉得很时尚。的确，日语已经成为上海街头一道亮丽的风景线。

訳　漢字に関して

皆さんご存知のように漢字は昔、中国から日本に伝わってきました。中国に来ている日本人は町の看板やレストランのメニューなどを見ると、大筋分かるので少しほっとすると思います。もちろん、中国人は日本に来て「ひらがな・カタカナ」を読めなくても、漢字を見て親しみを感じます。

しかし、長い年月を経て日本の漢字も中国の漢字も色々変化してきました。上海の友達は日本の漢字をかなり丹念に調べたようで、例えば中国語の「免費」は日本語で「無料」、「収費」は日本語で「有料」と言います。「日本に行っても、全然問題ない。」と彼は胸を張って言い切ります。確かに文字だけ見たら、「無料」は「料金無い」、「有料」は「料金有り」と理解してもよいです。でも、中国語の文字として見るとき、すぐ思い浮かんだのは「材料無い、材料有り」です。

これはまだ分かりやすい文字ですが、見てもピンと来ないものもあります。例えば、日本語の「上手」は中国語で「始める・順調」の意味で、日本語の「下手」は中国語で「手をつける・助手」の意味なので、まったく異なる言葉になります。「勉強」という言葉もそうです。中国語では「無理に強いる・いやいやながら」の意味で否定文に用いることが多いのですが、日本語では「学習」の意味です。二つの意味を合わせて考えると、大勢の人にとって学習は心から喜んでやることではないと悟りました。

ほかには、発音が似ていて誤解を起こしやすい言葉もあります。友達のご主人はふくよかな人で、彼女はいつも仲良く「PANG ZI（月に半という字と子）意味はデブ」と呼んでいます。彼女が日本に来てまもなく、ご主人の大学の研究室に遊びに行った時に、遠くからご主人を見かけると、「Hi,PANG ZI」と大声で呼びました。回りの人たちは「この若い奥さん、いろっぽいですね」とびっくりして、思わず笑い出してしまったそうです。それで、この笑い話はもう友達の間では経典になり、盛り上がりのネタになっています。

先日、中国で工場を作った日本人に会いました。彼は年に半分ぐらい上海にいるので簡単な日常会話は支障なく話せますが、時々乗る列車で車内アナウンスを聞くと「この列車……」の発音、中国語で「ben ci lei che」と言いますが、日本人の仲間全員が「ベンチレーター」に聞こえると彼は苦笑いしました。

同じ意味の文字、違う意味の文字、誤解しやすい発音が沢山存在していますが、言葉を勉強すればするほど面白さを感じられます。
いま、上海の町では日本語の漢字もひらがな・カタカナもそのまま使われています。看板に大きな面白みのある文字を眺めて、意味が分からなくても、おしゃれだと思います。まさに、日本語は上海の町のエキゾチックな風景の一つになっていると実感しています。

《受講生随筆》

日中友好切手

鈴木　初枝

皆さんは日中平和友好条約30周年記念の切手が発行されていたことはご存知でしたか？　知らなかったのは私だけ？　はたまた知っていても飛びついたのは私だけ？
その切手は、2008年に発行され、80円切手10枚が1シートです。うち4枚は、私の大好きな平山郁夫画伯の絵画で、その中の1枚に私が去年訪れた敦煌の莫高窟「九層楼」が描かれていました。そして隣は「法隆寺五重塔」。
ちなみに今年は日中国交正常化40周年ですよね。私が郵便局でたまたま見つけ、買ったのは2012年5月7日。ひょっとしたら今年も何か記念切手が発行されているのかしら。

再びの你好！

三浦　智恵子

2000年12月23日、“结业证书”を頂き、早や十余年。ここ数年、脳の活性化、△△防止の文字にスグ反応している自分に苦笑しております。そのようなことで、以前、テレビか新聞で脳の活性化などに語学が一番！の文字を見たことを思い出し、自分の歳を気にしつつ入会させていただきました。
一昔前、やっと覚えた単語もほとんど記憶から消え、これからまた一つひとつ……。そして苦手な四声とも懸命なお付き合いが始まります。
現在は教材用のテープがＣＤに替っていることにも時代の流れを感じながら１カ月が経ちました。
皆様お世話になります。どうぞよろしくお願い申しあげます。

中国旅行で中国語を話せたら！

大橋　はつ子

60 才を過ぎてから中国語教室に参加し、すでに半年が経ちました。どのくらい上達したかは、はなはだ疑問です。勉強しても時間が経つと悲しいくらいに忘れてしまうのが現状です。しかし教室に参加することが励みになり、投げ出さずに続けております。

子供の頃より国語の授業で漢文の朗読を聞き、また日本史以前の中国大陸の歴史に触れ、中国の大地に強い憧れを抱いていました。最近になって中国旅行のツアーに参加し楽しんでいます。

担任の鮑老師の誠実なお人柄や丁寧な授業のお陰で、これからも気持ちが折れることなく続けられれば……と思っています。そして中国語で中国旅行をさらに楽しみたいと願っています。

互相笑学习汉语

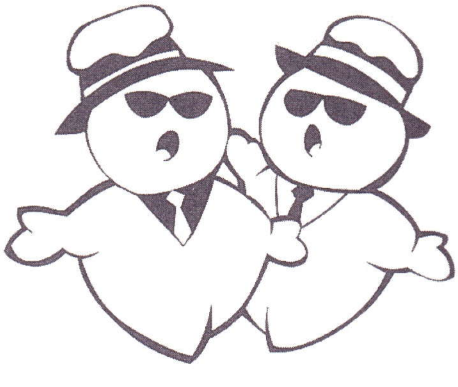
石原　美和子

大家好！

我从去年七月参加了这个汉语教室。人们常说无论学习什么外语，第一年进步很快。从第二年开始进步就慢了。

我们第二年的班有时话题脱轨，有时做作文错了互相笑学习很高兴。

跨过第二年的障碍想早点儿开始在外国生活。在外国生活对我来说不方便，可是我感到很愉快。



初級Ｂクラス

《クラス紹介》

波田野　勇治

私達のクラスは入門クラスからの進級者９名と他クラスからの転級者５名の合計 14 名です。

下は小学生、上は…？？の幅広い年令構成となっています。

丁先生のレッスンは、笑いを中心に、テキストに限定されることなく、実用的な会話力の習得を目指した内容となっています。

皆さん、中国語のさらなる上達を目指し頑張りましょう。

《老師プロフィール》

丁　菁

出身地	北京
誕生日	10 月 11 日
来日日時	1992 年
中国出身学校	北方交通大学
日本出身学校	獨協大学

《老師的一句》

来日 20 年

丁　菁

弹指一挥间，今年 5 月，我来日整整 20 年了。让我感慨的是人生能有几个 20 年呀！我决心从真正的意义上信佛，只求过一个平安的日子。谢谢大家。

《受講生随筆》

２年目を迎えての抱負

石井　克昌

大家好！まずは、昨年１年間丁老師を始め、幹事の吉田さん、武田さん、およびクラスの皆さん大変お世話になりました。毎回遅刻でご迷惑をお掛けしましたが、いつも温かく受け容れて頂きありがとうございました。1番の思い出は、秋開催された中国語スピーチコンテストです。コンテスト当日は少々緊張し、練習の成果を十分発揮できませんでしたが、毎日、会社への行き帰りの電車で丁老師に吹込んでもらったテープを何度も何度も聞き返しながらシャドーイングをしたあの頃が懐かしいです。クラスの仲間とも休日返上で、合同練習もしましたね。そして、コンテストでは悠汰君が、「埼玉テレビ賞」を見事受賞してくれました。打上げも盛り上がりましたよね。

さて、今年の僕の目標は、全授業への出席と復習の習慣作りです。というのも、今年の正月以降は授業にほとんど出席できず、1年目の教科書の後半は消化不良のままです。2年目に入ると、テキストの内容も濃くなり、丁老師の指導も一段と実践的で厳しくなってきたように思われます。初年度のおさらいの小テストも毎回あります。残念ながら、本日現在まだ第１課もクリアしていない状況です。しかし、その小テストを１段ずつクリアしていけば、確実に中国語の基礎力は上がるものと信じて頑張らなくては。その上で、授業に集中し、教室で教わったことはそのままにせず、復習するよう心掛けたいと思います。

さらに、中国語学習に関連し、今年は次の３つのことに挑戦してみたいと思います。

１つめは、丁老師およびクラスの皆さんと中国大使館(六本木在)近くの北京ダックの美味しいお店へ食事に行くこと。2つめは、健康作りの一環として、太極拳に挑戦してみたいです。川口日中友好協会または各中国語クラスの老師、メンバの中に太極拳をやられている方がおりましたら、是非私も仲間に入れて頂き、手ほどき願えれば幸いです。3つめは、中国文化や思想、並びに中国ビジネスを研究することです。「論語」を改めて読んでみたいですし、中国ビジネスの動向についてはアンテナを高くし、最新情報の収集に留意していきたいと思います。

ともあれ、丁老師、クラスの皆さん本年度もどうぞよろしくお願いします。引続き、楽しくやっていきましょう。謝謝！

成都への旅

波田野　勇治

2010 年 12 月、成都への旅の目的はパンダに逢うこと。

成都の空港からタクシーに乗り込み、街の中心にあるホテルへ向かった。道は渋滞続きで、なかなか目的地には到着できない。辺りもだんだん薄暗くなってきた。

今回は、妻と当時５歳の娘と私の３人旅。娘は物心付く前から海外を連れ回していたためか、今回の旅もすっかり慣れた様子。

まだまだ、時間が掛かるかな…、と思っていると、運転手が何かを言い出した。この当時は中国語が話せなかったので、何を言っているのかを全く理解できなかった。どうやら、「降りろ」と言っているようである。まだ、目的地のホテルではないことは辺りの雰囲気を見ると明らかであった。何？何故？意味がわからず少々パニックとなった。英語も中国語も通じない、とにかく「降りろ」と言うことのようである。仕方なく、運転手の名前と車のナンバーを控えて下車することとした。クリスマスを迎える頃の夜の成都は寒かった。言葉も今いる所もわからない。この後どうなってしまうのか？不安な気持ちのまま、車は走り去り、路地に入って行った。

「でもお金払ってないよね？」ということは、このままいなくなってしまうことはないのかなと思いつつ、車が入っていった路地を後から追うように入っていってみた。何と、車は給油のためスタンドに立ち寄っていたのである。そこは一般向けではなく、タクシー専用のスタンドのようであった。10 分ほどすると車はまた戻ってきて、再び乗車し、無事ホテルに着くことが出きた。日本では客が乗車中にスタンドに寄るという経験はなく、聞いたこともなかったが、日本ではあり得ないことが中国では普通にあるのだなと感じた一件であった。でも、どうして、下車しなければならなかったのか？規則違反なのか？それは今でも謎である。

翌日、郊外にあるパンダ基地に行き、数多くのパンダが遊んだり餌を食べたりする様子を間近で見ることができた。また、とても高額な育成費用なるお金を払い、抱っこや写真撮影をすることができた。子供パンダということであったが、現れたパンダは１歳であるにもかかわらず、娘の体重の倍以上はあると思われる大きなパンダで、娘は少し怖がってしまい、残念ながら積極的に楽しむことはできなかった。私は、ここぞとばかりに、パンダを膝に乗せたり、頬ずりしたり、くすぐったり、いじくり放題させてもらった。

日本では出来ない貴重な体験をしたことは、深い思い出になった。また行きたい場所の一つとなった。

ついに中国へ

三宅　悠汰

ぼくは今年の 4 月、ついに中国の北京に行きました。中国語を習っていなければ、この年令（11 歳）で行くことはなかったと思います。

中国では治安が心配だったのと初めて行くのでお母さんがビビってツアーを選びました。中国に着いて一番始めにビックリしたことは北京国際空港の大きさです。東京ドームの 3 倍くらいあったと思います。また京劇を見ました。お面がおもしろかったです。中国語で言っているのでよく分からなかったけれども雰囲気はよく分かりました。北京ダックも食べました。外がパリパリでつけるミソダレがおいしかったです。ちょっと日本の味とちがいがあったので「これが中国の本場の味なんだ」と思いました。

そのほか鳥の巣やひすい（中国でとれる鉱石）なども見たりさわったりしました。故宮や万里の長城などの世界遺産にも行きました。ツアーで行ったので行く所には、日本語が話せる人がいて中国語は「多少銭」や「謝謝」、「対不起」などしか話せませんでしたが、通じたのでうれしかったです。

中国に行ってみてとても楽しかったです。また行ってみたいと思いました。つぎはツアーに入らずに自分で会話したり、人に道をたずねたりしながら行ってみたいです。そのためにも、もっと中国語を勉強したいです。

西公民館火曜夜クラス

《クラス紹介》

青沼　利興

今年は、長年勉強されてこられた早川さんが事情により“卒業”された代わりというわけではないですが、中国で仕事をされすでに流暢な中国語を話される都築さんが入ってこられたので、結局人数は変わらず、男性５名、女性５名、計 10 名でスタートしました。いつもアットホームな雰囲気で授業が進められ、難しい课本『汉语口语速成』に取り組んでいます。

课本は“速成”ですが、授業は“慢慢成”“一步一步进步”で张凡老师が着実に丁寧に教えてくださり、特に听话、会话、聞いて話すことを心がけるように諭されておられます。

今年こそは、『汉语口语速成』をなんとか終わらせて、さらなる一歩を踏み出していけるようにしたいと考えています。

坚持就是力量，我们一起学习吧！

《老師プロフィール》

張　　凡

出身地	南京
誕生日	12 月 2 日
来日日時	2003 年
中国出身学校	武漢中南財経政法大学
今の職業	中国語講師
家族	夫・息子
趣味	料理、子供に絵本を読み聞かせ
来日理由	留学
夢	いい中国語先生になりたい

《老師的一句》

樱花情结

张　凡

我喜欢花，尤其喜欢赏樱花，这不仅因为樱花有着让我感动的美，还有我对樱花怀有一种特别的情结。

记得第一次看到樱花是我在武汉上大学的时候。武汉大学校园里有许多樱花树，每逢樱花盛开的时节，慕名前来目睹樱花风采的武汉市民总是络绎不绝。当我把赏樱花的想法跟几位好友一说，大家一拍即合，立即行动起来。记得那天，我们很早就坐上公共汽车，换了两次车，路上花了一个多小时才来到武汉大学。我们刚迈进校门，远远地就看见一片片灿若云霞的樱花簇拥在一起绽放着，花瓣随风轻盈地飘落，犹如下起了花瓣雨……樱花虽然没有牡丹的华丽，梅花的芳香，但是它的美让我感动，难以忘怀。那次之后，我们相约：每年樱花盛开的时候，一定再来看樱花。读大学期间，我们恪守了一起赏樱花之约。我突然感悟到：我们不仅欣赏到了樱花的美，我们之间的友情也因此得以加深。那是一段美好的，刻骨铭心的青春回忆。

我在樱花即将盛开的季节来到日本，初来乍到，语言不通，再加上远离亲朋好友的寂寞和对未来的不安，像块大石头压得我喘不过气来。过了不久，在路边，公园以及日本人的家门前，随意就能看到开得满满的樱花树，我又一次被深深地感动，这种感动给了我无穷的力量，使我相信一切都会好起来的。一年后，在樱花盛开的时候，我圆了自己的留学梦，成了一名大学研究生;在樱花即将盛开的时候，我有了个可爱的儿子。回忆过去的这些年，每逢樱花即将绽放和盛开的时候，总会给我带来些许惊喜。由此，我与樱花结下了不解之缘，对它的情结也油然而生。

可是去年，因为 3 月 11 日的大地震，在樱花即将绽放的时候，我带着遗憾和无奈离开日本，回到老家南京，没想到在南京我也能看到樱花，尽管没有日本的漂亮。今年，在樱花盛开的时候，我非常高兴自己成为川口日中友好协会的一名汉语老师。我心里充满着对明年樱花盛开的憧憬……

訳

桜への思い

花が好きな私にとっては、特に花見が大好きです。それは桜の美しさが感動させてくれるだけではなく、桜への特別な思いを抱いているからです。

初めて桜を見たのは武漢で大学に通っていた頃でした。武漢大学の校庭に多くの桜木があります。桜が満開の季節になると、桜の名所として見に来た

市民がいつも絶え間なく続きました。友達と花見に行く考えを話すと、みんな賛成してくれました。その日、私達が朝早くバスに乗って、二回乗り換えて、一時間以上もかかって武漢大学に着いたことは覚えています。校門に入ると、遠くから彩雲のような桜が鮮やかに咲き乱れた様子が目に入りました。花びらは風にしなやかに空から舞い落ちてきて、花びら雨のように見えました。桜は牡丹の華麗、梅の香りもありませんが、その美しさに忘れられないほど感動しました。その後、私達は、毎年必ず桜を見に来ました。私は、桜の美しさを楽しむことができただけではなくて、友達の間の友情を深めることもできたことが突然わかってきました。それは青春の思い出として深く心に刻まれています。

私は桜がもうすぐ満開になる季節に日本にやってきました。来たばかりで、言葉も通じませんでした。親戚や友達から離れた寂しさや将来への不安は、まるで大きな石が、私を押さえて息が切れそうでした。間もなく、私は、道側、公園や住宅の前で、満開になった桜木を存分に見て、また感動しました。その感動はたくさんのパワーを与えてくれて、すべてのことはよくなってくることを信じるようになりました。一年後、桜が満開のとき、私が大学院生になる夢が実現できました。桜がもうすぐ満開になるとき、かわいい息子が生まれました。過去を振り返ってみると、満開になる頃、桜はいつもうれしいことを与えてくれます。そのために、私は桜と切ることのできない縁を結んで、桜への思いが自然に沸き起こります。

しかし、去年の 3 月 11 日の大地震で、そろそろ桜が満開になる頃、私は悔しくて、仕方なく実家南京に帰りました。南京でも日本ほど美しいとは言えないが、桜見物が思わずできました。今年、桜が咲く頃、私は川口日中友好協会の中国語の先生になることでとてもうれしく思います。来年の桜が満開になった憧れを胸いっぱいに抱いています。

《受講生随筆》

盘古开天

井上　不二子

这是一段动人的故事。说的是很久很久以前，我们所生活的这个宇宙一团漆黑，分不清哪是天，哪是地。有个叫盘古的人在里面睡了 18000 年。有一天，他突然醒了，睁开眼，眼前黑得什么也看不见。黑暗中，盘古摸到了一把大斧子，朝眼前的黑暗猛力劈去，只听见山崩地裂的一声巨响，漆黑的一团破裂了，

轻的东西慢慢上升变成了天，重的东西慢慢下降变成了地。盘古怕天地重新合上，就头顶天脚踏地，站在天与地之间用身体支撑着。天，每天增高一丈，地，每天加厚一丈，盘古也随着长高一丈。这样又过了 18000 年，天与地的构造已经稳固了，盘古太累了，就倒在地上死去了。传说，盘古死后，他的身体的各个部分变化成万物。

他的骨头变成高山，肌肉变成田地，血液变成河流，汗毛变成草木，左眼变成太阳，右眼变成月亮，他的头发和胡子变成了天上数不清的星星。

这个神话使我们了解了远古时期人们对宇宙起源的认识。在中国人民的心目中，盘古是开天辟地的英雄，是他创造了我们这个丰富而美丽的世界。

北京语院大学出版社 对外汉语精版教材　中国文化より

訳　盤古が天を開く

これは人々を感動させる物語です。昔昔、私達が生活するこの宇宙は、真っ黒でどこが空でどこが地面か分かりませんでした。盤古と呼ばれる人は、そこで 18000 年眠っていました。ある日彼は突然目覚めました。目を開けても目の前は、真っ黒で何も見えません。その真っ黒な中で盤古は大きな斧を探り当て、目の前の真っ黒に向かって力一杯振り下ろしました。山が崩れ、地が裂けるような、大きな音だけが、聞こえて、真っ黒な固まりが破裂しました。軽い物は、ゆっくりと上に登り天となり、重い物は、ゆっくりと下に降りて地面となりました。盤古は天と地がもう一度くっつくのを心配して、自分のからだを天と地の間に入れて、頭で天を支え足で地面をしっかりと踏み続けました。空は毎日約 3.3 メートル高くなり、地面は毎日約 3.3 メートル厚くなっていきました。盤古もそれにつれて身長が、伸びていきました。このようにして又 18000 年過ぎました。天と地はすでにしっかりと固まりました。しかし、盤古はとても疲れて地面に倒れて死んでしまったのです。

伝説によると盤古が死んだあと、彼の体の各部分は万物に変わり、彼の骨は高い山となり、筋肉は田畑に変わり、血液は川になり、汗と毛は草木になり、左目は太陽、右目は月となりました。彼の髪の毛と髭は、空の数え切れない星となりました。

この神話は、大昔の人たちが、宇宙はどうしてできたのかという考えを、私達に教えてくれました。盤古は有史以来の英雄であり、私達の豊かで、うつくしい世界を彼が創ったのだ、と中国人は考えています。

盤古（ばんこ）：（神話で）天地開闢の祖といわれる人の名前

翻訳　井上不二子

我们的急性子教练

井上　不二子

上周四我们打麻将去了。那里人很多，他们经常吸烟，让人受不了，不过我们没有包租，没办法。我以前说过的那个急性子教练，像往常一样靠近我的身边，教我打麻将的技巧。他从开始就一直插嘴，我的脑子、眼睛团团转，牌也看不清。

他看见我出牌就说:“你为什么出那张牌，应该出这张牌。”接着又说:“下次你打算出什么?”我理解他的热情，不过当时我没有思考的时间。

昨天我又去打麻将了。急性子教练没来。我很奇怪问了别人，得知他住院了不能来。

我感到一时放心，但是后来觉得有点儿寂寞。那天来了一位新人，她打牌打得特别慢，经常拿着牌摆弄好一会儿。看着她的样子急死我了。这时我终于明白了教练的心情。

喜欢吃的东西

杉浦　契子

我喜欢吃比较清淡的东西。比如说，豆腐、萝卜等蔬菜。我还喜欢吃辣的东西。所以麻婆豆腐是我最喜欢的中国菜。

我们公司附近有很多饭馆。如果我第一次去哪家饭馆时，我一定先点麻婆豆腐。那家麻婆豆腐好吃的话我再去，如果不好吃的话，我再也不会想去。

离我们公司比较远的地方有一家饭馆，男的同事们常常去。他们每次很快跑着去饭馆。听说那家饭馆的麻婆豆腐很好吃。我很想去，不过对我来说，我们公司的午休时间内恐怕吃不完。太可惜了。

訳　好きな食べ物

私は割とあっさりとした食べ物が好きです。例えば豆腐や大根等野菜です。辛いものも好きです。だから麻婆豆腐は特に好きな中華料理です。

会社の近くにはたくさんのレストランがあります。初めて行く店では必ず麻婆豆腐を注文します。美味しければまた行きますし、不味ければ行きません。

会社から少し遠い所に男性の同僚たちが良く行くお店があります。毎回とても早く走って行きます。そこの麻婆豆腐はすごく美味しいとのことですが、私では昼休み中に食べ終わることができないでしょう。とても残念です。

上海的烤鱼

有贺　利男

我一个人去烤鱼店吃饭。觉得烤鱼饭跟日本的一样，就想吃烤鲑鱼饭。不过菜单上只有鲇鱼、黑鱼、黄鱼三种。不得已只好订鲇鱼，传票上有印着二十六块和手写的 3.7 公斤。还订了两块钱的一碗米饭。

老板让我看了一条活鲇鱼很大，吓了一跳。老板说这是店里中最小的，指着传票说什么什么的……所以没关系（理解不了)。这个菜是把烤过的鲇鱼再煮一下，味道很咸，有点儿辣，好不容易吃完了，可是米饭吃不下了。

买单的时候，拿出二十八块的时候，老板说是九十八块。 哎呀！鲇鱼的价格是每一公斤二十六块啊。

訳　上海の焼魚

私は一人で焼魚店に食事に行く。日本の焼魚定食と同じだと思い、焼鮭定食にしたいと思ったのだ。しかし、メニューには鯰（なまず)、黒魚、黄魚しかない。仕方がないので鯰を注文する。伝票には、印刷で“二十六元”と手書きで“3.7kg”とある。それに 2 元の御飯を頼む。

店主が生きた鯰を見せてくれたが、あまりにも大きいのでびっくりした。店主は店の中で一番小さいと伝票を指差しながら“……だから大丈夫”と言った(理解できない)。この料理は焼いた鯰をさらに煮たもので味は塩からく、そのうえ少し辛い。何とか食べ終わったが御飯は食べられなかった。

支払いのとき 28 元を差し出すと、店主は 98 元と言った。なんと、鯰の値段は 1 kgごと 26 元だった!!!

听广播学习的事

青沼　利兴

三十几年前我还是个中学生，高中生的时候，我一边听英语学习广播节目，比方说，文化广播“约翰哈里斯：百万人之英语”，东后胜明“NHK 的广播英语会话”，“FAR EAST NETWORK”（极东广播网，现在美国军广播）等，一边学习英语。

但是在九州，中国广播，韩国广播的电波很强，英语学习广播听不清楚。有的时候英语学习广播网刚说：“ Lesson1, How many days…，”突然听见了中国的国歌和广播，有的时候还听见韩国广播：“…スミダ，…スミダ，…スミ

ダ”，非常吵，一片杂音。我把收音机的方向朝东或者朝西改变了，但是我还没听清英语学习广播的内容，问题，解答的时候，广播节目就结束了。

现在技术进步了，收音机广播内容用电脑也能听得到了。我每天用电脑听 NHK 的广播节目每天汉语，CNR 的广播节目中国之声、音乐之声、经济之声等学汉语。三十年前中国广播是英语会话广播的杂音，不过现在对我来说是重要的学习广播节目。

我将来也要听广播节目学习汉语，英语等等。

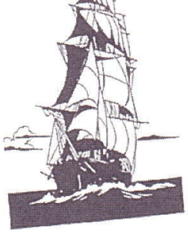
訳　ラジオ放送を聞いて学ぶという事

今から三十数年前、私がまだ中学生、高校生だった頃、私は、英語学習のラジオ放送番組、例えば文化放送「ジョンハリスの百万人の英語」、東後勝明「ＮＨＫラジオ英語会話」「FAR EAST NETWORK」（極東放送網、現在米国軍放送網）を聞いて英語を勉強しました。

しかし、九州では中国放送や韓国放送の電波が強くて英語学習のラジオ放送が聞き取れませんでした。ある時は、英語学習のラジオ放送が“Lesson 1, How many days…”と始まった途端に、突然中国の国歌や放送が聞こえてきたり、ある時は韓国放送の“…スミダ，…スミダ，…スミダ”が聞こえ、雑音がうるさくて聞き取れませんでした。私はラジオの向きを東にしたり西にしたりしましたが、英語学習のラジオ放送の内容、問題、解答を聞き取れず、放送番組は終わっていました。

今では技術が進歩し、ラジオ放送は様変わりし、パソコンで聞くことができるようになり、「ＮＨＫラジオまいにち中国語」「ＣＮＲ中国放送、中国之声、音楽之声、経済之声…」を聞いて中国語を勉強しています。中国放送は、三十数年前には英語学習放送の雑音でしたが、今では私にとって重要な学習放送番組になりました。

私はこれからもラジオ放送番組を聴いて中国語、英語などを勉強していきます。



节能灯是真是假

木村　眞弓

节能灯便宜!?
节能灯使用寿命长!?
节能灯什么灯都适用!?
节能灯明亮!?
节能灯节能!?

节能灯被认为是虽然有点儿贵，但是与过去的白炽灯相比使用寿命长达40,000小时，它不但不产生二氧化碳(Co_2)，紫外线，而且还很环保，还有节省换灯泡的麻烦。

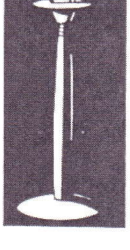
不过，它也并不是所有的电器都能用，因此，它购买之前须先好好读懂“使用说明”，如果有不清楚的地方，向生产厂家询问。只有做到正确的选择,才能达到节能的目的。

訳　LEDランプうそほんと

LEDランプは安い!?
LEDランプは長寿命!?
LEDランプはどんな照明にも使える!?
LEDランプは明るい!?
LEDランプはエコ!?

LEDランプは少し高価ですがその寿命はなんと40,000時間と言われているそうです。従来のランプ（白熱灯）と比較すると、とっても長持ちです。Co_2や紫外線も出ないから地球に優しく、面倒なランプ交換の手間が省けます。

でも……使えない器具もあるそうです。購入前には器具の「取扱説明書」をよく読んで、分からないことは製造元やランプメーカーに尋ねましょう。賢い選択で賢い省エネ!!



蛐蛐儿在鸣的整骨医院

林　纪代

我一个星期去一次整骨医院，在那儿每次都能听到蛐蛐儿的鸣声。最初我不知道这是蛐蛐儿的鸣声。有一次去治疗室的里边，看到有几个容器，里边有灰色的物体在动。它们是变色龙，蛐蛐儿的鸣声就是从那附近传出的。院长爱好饲养变色龙，蛐蛐儿是变色龙的饵食。

自然界的话只有在秋天才能听到蛐蛐儿的鸣声。可是只要四季都给它们土和饵（蔬菜）的话，它们就能连续不断地产卵繁殖，所以变色龙的食物就不会受到限制。

我问院长："变色龙很贵吗？"

他说："变色龙也会繁殖，不必要买"。

我以前认为变色龙是会变色的，但是这儿的不变色，只是老了后会变得红一点儿。一般它们只生存三、四年，去年三月十一日大地震时死了几只，一定是感觉到压力了。我的腰疼还没恢复，有时一边听着蛐蛐儿的鸣声，一边接受治疗。

訳　コオロギが鳴いている接骨院

私は週１度接骨院に行く、そこではいつもコオロギの鳴き声が聞こえる。最初はコオロギの鳴き声とは解らなかった。ある時治療室の奥に入ったら、数個のゲージがあり、中で灰色の物体が動いていた。それはカメレオンで、コオロギの鳴き声はその辺りから出ていた。医院長がカメレオンを飼っていたのだ。コオロギはカメレオンの餌だった。

自然界では秋にだけコオロギの鳴き声を聞くことができる。しかし四季にかかわらず土と餌(野菜)を与えれば、彼らは産卵し繁殖し続ける、だからカメレオンの食べ物には困らない。

私は院長に尋ねた「カメレオンは値段が高いですか」

院長は答えた「カメレオンも繁殖できるので、買う必要はない」

私は前からカメレオンは変色すると思っていたが、ここのは変わらない。ただ年をとると少し赤くなる。普通は3～4年生きるが、去年の3月11日の大地震のとき、数匹死んでしまった。きっとストレスに弱いのだ。私の腰痛はまだ回復しない、もうしばらくコオロギの鳴き声を聞きながら治療を受けます。

充实理想的旅游

夏威夷岛的三天和欧胡岛的三天（摘译）

日文：市东　文子
翻译：早川　守男
校对：张　　伟荣

♨乘直升飞机一个小时周游 Kilauea 火山一带♨♨♨

在大的喷火口周围，红色的小火苗看起来像难为情一样徐徐地燃烧着。由于强风降雨的原因，之前的一周都不能看火焰，直升飞机好像也不能飞。幸运！熔岩的痕迹一直流到大海。去年 3 月 10 号那一天，一直以来安稳的火山突然在地上 100 米附近处喷出了火焰，然后在那个不祥的 3 月 11 号喷火又突然停止了，所以有的学者认为可能东北地方太平洋海上地震和地壳变动之间有什么关系。真正地让我们看到了大自然的威胁。在一个地方，从云彩向地面广泛地落下美丽的薄膜，看起来非常神秘，而这是雨。实在是不可思议的景象!!!

★满天的星星★★★

在 Mauna Loa 山 2,000 米高的地方看日落的时候，整个天空被火烧云染成金黄色，我不禁行上了最敬礼。然后又在“Onizuka 天文观测站”看了满天的星星！用天体望远镜可以清楚地看到土星的光环!!

👀欧胡岛西海岸海上的美人鱼奶奶👀👀👀

游泳不太好的我穿上救生衣，戴上潜水眼镜和通气管，脚蹬潜水鳍，被稍显得不耐烦的日本青年向导带去潜水。在那里我看到了在海里游泳的海豚一家和海龟，还有红色蔚蓝色绿色黄色等等色彩鲜明的热带鱼。心情太舒畅了，被水中难以形容的美丽景色吸引，我不禁把脸沉入水中的时候，向导用尖锐的声音喊道：“妈妈，妈妈，请露出头！”我吓了一跳，赶紧仰起了脸。他认真地说道“请时不时的露出脸啊，否则不知道您是有呼吸还是没有呼吸啊!!” 同行的女儿听到这，在海中捧腹大笑起来。说起来也是理所当然，将近 40 个人的团体中大部分是新婚、年轻的情侣、女性朋友们，年龄多在 30 岁前后，没有老年人。

离别的时候，我受到了向导的表扬：“你是今天的首席啊，请一定再来！”

我还对另一个帅哥向导 Jay 说：“I never forget you and this wonderful Sea-World forever！”

他说：“Oh, thank you!!　I'm glad to see you!!!”

然后他紧紧地拥抱了我 zzz ...... zzz!!!

一切都像梦似的一周，到现在我仍然无法平息激动的心情！

夢旅行

ハワイ島3日間&オアフ島3日間

市東　文子

♨キラウェア火山一帯をへりコプターで1時間周遊♨♨♨

1983年の火山爆発時には、457mの高さまで溶岩が噴き上げられた。連綿と続く原始の営みを確かめようと、念願だったキラウェア火山をヘリコプターで周遊。爆音を防ぐヘッドバンドタイプのイヤーマフ（耳当て）をする。ひときわ甲高い声で泣き叫ぶ6ヶ月の孫（女の子）に慌ててスタッフがマフをすると、寝たが得とばかりにすやすやと寝入ってしまった。豪傑！4歳半の孫（女の子）は緊張のあまり固まって口を噤む。$180は大金だが、ドンマイドンマイ！また稼げばいいじゃん！山は比較的おとなしい。大きな噴火口の周りでは、申し訳なさそうにチョロパッパと赤い火が噴き出ていた。幻想的！それでもこの1週間、火は影を潜め、毎日、雨風が強くヘリも飛べなかったらしい。ラッキー！黒々と海にまで流れ出た溶岩の跡が、見渡す限り生々しく大きく広がっている。

火口近く、溶岩を辛うじて避けた所にピンクの屋根の家が一軒だけあり、周囲は緑のジャングル地帯。現在なお、お爺さんが、神に感謝しながら民宿を経営していて、結構人気があるらしい。もちろん、山を歩いて行くしか術がない。彼は肉魚を嫌い、近所で採れたパイナップルや野菜を食べていて、数ヶ月に一度、買い物に行く。そんな暮らしもあるのか。

2011年3月10日には、その時まで活動を控えていた山が、突然、地上100m近く火を噴き上げ、翌日のあの忌まわしい11日にピタッと噴煙を止めたので、“東北地方太平洋沖地震”と地殻変動か何か関係があるのだろうという学者もいるとか。大自然の脅威をまざまざと見せつけられた。

眼を凝らすと、広範囲に雲から地面に向かって美しく霞がかかった薄い幕の下りている箇所が見え、とても神秘的であり、それは“雨”であると、ガイドが教えてくれた。今まで見たこともない実に不思議な光景!!!　ヘリコプターの窓から手を出すと、ピリリンと千切れてしまいそうになり怖かったなあ。ガイドが「ジェットコースター好き？」と聞いたので、進行方向の席に座っていた上の娘と私、調子に乗り「大好き♪」と答えると、ヘリは急降下!!!「ウワッ！コワッ！」と声を上げてしまった。下の娘夫妻は進行方向と反対の席に座り、ヘリ酔いに悩まされている最中で、急降下によって悪酔いが増し、嘔吐寸前で私たち二人のはしゃぎぶりに呆れ返り閉口したとは後で聞かされた話。

★サンセット＆星たち★★★

ハワイ島は年中雨が多く、マウナ・ロアに向かう途中も降っている。これではサンセットも星も無理だろうと言うと、雨雲の上に行くから大丈夫と娘が答えたが、半信半疑。2,000m地点まで車を走らせると、然り。空一面が金色に染まり、思わず最敬礼をして「頑張ろう日本！」と拝んでしまったサンセットの厳かさ。“オニヅカ天文観測所”で観た満天の星たち! 天体望遠鏡にはくっきりと土星の輪が映し出されていた!! 海は広いな大きいな♪と思っていたのに、広大な宇宙に対してなんとちっぽけな!!!この地球よ。人間は苦しむために生まれたのではない、感動を味わい喜びに感謝しようと改めて深く感じた星たちへの祈り。

ooオアフ島西海岸沖の人魚姿oooooo

2年前のハワイで娘は“イルカと泳ごう”の素晴らしい体験をした。泳げない母親にも是非と強く勧められたので、一念発起したイルカ大学でのシュノーケル一日体験。

早朝 6 時にホテルを出た。ドライバー兼ガイドのタカオは、日本で中学の先生をしていたが、ロサンゼルスで 9 年間過ごし、言語学のマスターを取得したインテリ。妹と参加した“名門イルカ大学”ツアーに魅せられて、いつしかガイドになってしまった経歴の持ち主。

途中、郊外にある知る人ぞ知る老舗ベーカリー“レナーズ”にて揚げたての“名物マラサダ”をゲット！ウーン、美味しい！Good!! 8時半西海岸・ワイアナエ・ハーバー到着。海は限りなくブルー。そよ吹く風が快い。クルーズ前、ハワイアン伝統に従い、安全を祈る儀式に参加。エホマイ詠唱後、プルメリアの清楚な白い花を海に投げて、航海の安全を祈った。さあ出航。

オット、40 人近い団体のうち、幸せそうな新婚さん数組、寄り添う若いカップル、賑やかな女友達同士、それに 1 組の小さな子を連れた親子。年齢は皆 30 歳前後、高齢者はいないゾ。ヤバイ✖ $130 の大枚をはたいたのだから、イェイ行くゾゥ✌ ガイドのタカオ青年「この中で泳げない人いる？」私、即座に誰よりも早く元気よく「ハーイ！」ほかにはいない。タカオの“泳げねぇ年寄りかよ、保証できねぇな”というオーラが曇った顔に出ている。でもさすがプロ、明るく「じゃ、俺が面倒見るから、Jay と Lawrence 残りのみんなを頼むよ！」

首から胸までのライフベスト（救命衣）を着て、マスク（度付き水中ゴーグル）とシュノーケルを嵌め、フィン（足ヒレ）をつけ、Jay に背中を押されて海へドボン!!! 水深 8～10m の海に落っこちた瞬間、びっくりして小さく「アッ！」と発した途端、シュノーケルとマスクの位置がずれ、口と鼻に海

水がジュワッと入ってきて、早くもパニック。驚いたJayは海に飛び込んで、老婆の手を引き、タカオのところまで連れて行ってくれた。シュノーケルとマスクの位置を直し再出発。“だからっ、泳げない高齢者なんて、クソッ！”と思われたかなあ?! いやへこたれない、これが今回のハワイ旅行のメインだもの。

タカオに連れられ、あまりの気持ちよさと水中のえも言われぬ美しさに見とれて、顔を鎮めていると、タカオが突如、甲高い声で叫んだ。「ママ、ママ！顔を出してよ!!」びっくりして顔を上げると、きつい口調で「時々顔を出してよ、息をしているかどうか判らないじゃない!!」と真剣に言ったので、同行した娘は海の中で笑い転げていた。1回目はイルカに総すかんを喰い、無駄泳ぎ。いったん船に上がり、チャンスを待った。

「ママ、行く？」「モチ！」タカオに浮き輪を引かれ、少し泳ぐと「下！左！」いたいた、イルカの小さな群れがあっという間に、海中を通り過ぎた。でも見られなかった人がたくさんいたので、また船に上がり、会場からイルカウォッチング。「来たぞ。飛び込め！」

3回目はJayに連れられ、緊急発進「Right!」の言葉と同時に海中を覗く。イルカの親子が映画の一シーンのように泳いで消えた。これは夢？日常の喧騒を忘れ、楽園を浮遊する私。何もかも忘れ、人魚婆になった幸せな瞬間。

今度は別の場所から水中ウォッチング。シュノーケルもマスクもフィレもマスターして絶好調。ガイドに頼らず、娘に浮き輪を引かれた後、海を覗くと、青亀が数匹いた。いやすぐ近く、手の届く範囲には、水族館でよく観る黄色と黒の縞々模様、赤青緑黄色ピンクの魚など彩りも鮮やかな熱帯魚が悠然と泳いでいる。この世とはまるで別世界。

ガイドの「乗船！」の合図で船に上がり、昼食のハンバーガーとパイナップル・パパイア・バナナの果物碗が配られた。パンにハンバーグとチーズを載せて、Lawrenceがケチャップをグチャグチャとかけていった。寒い！体をガタガタと震わせながら食べた。トイレから戻った娘に、Lawrenceは愛情を籠めてケチャップでハートを書いている！ナンダ、この差は!? 睨みつける私に彼はニヤニヤ笑っていた。

12時半にハーバーに着き、楽しかったプログラムが閉じられようとしている。タカオに「イルカ大学で、生涯忘れられない想い出ができたよ。足手纏いになって、迷惑をかけちゃったね」と素直に謝った。

そして別のイケメンJayに言った。

“I never forget YOU and this wonderful SEA-WORLD forever!”

“Oh, thank you!! I'm glad to see you!!!”

とか言って、強く抱きしめてくれたっけ zzz …… zzz!!!

帰りのバスでは小錦の実家（豪邸）や日立の「この木なんの木、気になる木」の現地を通り過ぎる頃、睡魔に襲われ、心地よい眠りについた。1時間ほどでホテルに着くと、タカオは飛び切りの笑顔でバスから降り、熱い握手を求めてきて、別れ際に言った。

「すっごいョ、ママ！今日の参加者 40 人の中で首席だよ!!! 泳げないのに総ての授業をこなした。必ずリピートに来てね！」タカオに褒められた。そして小さな声で呟いた。

「オレ、今日のブログに書くからな！」

新婚を何度もアピールしたカップルや頑張っていた小さな女の子より、この人魚婆はタカオに強烈な印象を与えたらしい……。

帰国後、タカオが書いた市東家の写真入りブログをインターネットで見つけて、もうびっくり、恥ずかしいやら嬉しいやら!!!

いくらも泳げない私がワイキキの海で 5 分も浮いていた驚き、さらに日本のようにべたつかず、海から出てもさらっとした感覚。帰国する当日、朝の 9 時から 1 時間、時間を惜しんで、孫や娘と目の前のワイキキ海岸で泳いでいる時、水平線かなたに虹を見たからには、また「来れる」と確信した。内心、体力気力の衰えをうっすらと感じ、今回のハワイ旅行は“冥土の土産”にするつもりであったが、欲が出て、冒険はまだまだエンドレス、最期はワイキキの海で旅立つのも素晴らしいな！とまで考えた。

2011 年 6 月の夢のような楽園の 1 週間、いまだ興奮が冷めないよぅ♪

協会水曜朝クラス

《クラス紹介》

佐々木　由利子

私達水曜クラスは特待生１人を含む９名で、年齢層は少々高めですが、あせらず、のんびり、楽しく勉強しています。毎週１人ずつ１週間の出来事を発表し、発音、文法、ヒアリングの実力アップを目指しています。話題が様々で面白く、笑いが絶えません。

又、毎年秋には料理教室を開いて、先生に本場の中国料理を教えて頂き、味わうことが私達の楽しみのひとつでもあります。鮑先生は料理がお得意とのこと、どんな料理を教えていただけるのか、今から楽しみです。

これからも「活到老学到老」をモットーに頑張ります。

鮑先生、１年間よろしくお願いします！

《老師プロフィール》

鮑　　萍

出身地	上海
誕生日	5月24日
来日日時	1992年
中国出身校	上海師範大学
家族	夫、息子
日本での職業	日本語講師・弁護士事務所アドバイザー
趣味	料理を作ること、文章を書くこと、ダンス
来日理由	夫が仕事で来日のため
夢	画商、エッセイ作家

《受講生随筆》

我介绍一下我参加的彩虹桥会

佐々木　由利子

彩虹桥会开展活动快六年了。我参加这个会也已经三年了。这个会有很多中国人和日本人参加，大家互相用日语和汉语边学习日常会话边交流。钱老师为日中友好充当着桥梁的作用。虽然她的工作很忙，但是作为志愿者教我们。我觉得这是一个任何人都不能仿效的了不起的活动。彩虹桥会的中国人出生地都不一样。比如，吉林省，四川省，河南省，内蒙古等等。有的是进修生，有的是跟日本人结婚的妇女，她们都在工作。许多人为了取得日语水平资格用功地学习。他们边工作边学，很辛苦。

在日本为了过日子，会说日语是必需的。可以说是为了生活而学习日语吧！我和他们不一样。 我想结识中国人是为了去中国旅行时，想跟中国人用汉语打招呼和交流；学习汉语也是我的爱好。 上课时我们不用课文，每次主题都不一样，比如天气，国际形势，家庭，孩子，工作等等，老师接二连三地引出很多的话题，我们很容易听懂。我们说起话来没完没了。我开始参加的时候，中国人们说得很快，听不清他们说的是什么，回家后有点儿头疼。最近越来越习惯了，现在能听懂一点儿了，可是我说得还是不太好。老师常常问学习汉语的日本人“这句话，这个句型，这个语法用日语怎么说？”“---和---不一样吗？为什么？”虽然我们都是日本人但是教中国人日语，太难了。我们有时答不出来，感到很不好意思。

我已经上年纪了，所以边学习边忘。老师知道以后就耐心地跟我们说；“没有问题，忘了再说， 反复说很重要。慢慢儿学习吧！”上课时说得好的话，回家以后我的心里特别高兴。说得不好的话，我就有点儿懊恼。

每年彩虹桥会都有聚会。参加的日本人和中国人一共三十个人左右。聚会的时候我们先一起又包饺子，又做凉菜。包地道的饺子有点儿难。桌子上有很多中国菜，水果和点心。然后，我们一边吃饭一边聊天儿，还一边玩游戏，热闹极了。还有发表感想的时候，我有点紧张。不过，每次聚会我们都很开心。

我参加彩虹桥会，使我最高兴的是认识了很多的中国人和日本人。尽管大家年龄大不一样，但是我们都是同学，而且就像家人一样，同甘共苦。这里经常充满了和谐的气氛，我像孩子般地哈哈大笑，所以我脸上的皱纹越来越多，怎么办好呢？多亏了大家的帮助我才能过这种有意义的生活。特别感谢钱老师，敬仰她为师长。我们的最终目标是能说一口流利的日语和汉语，并且加深日中两国的友谊。我们要更加努力地好好学习。

訳　私が参加しているかけはし会を紹介する

かけはし会は発足してもう６年を迎える。私はこの会に参加して３年になった。この会には中国人や日本人が多く参加して、皆日本語と中国語で日常会話を学びながら交流している。銭先生は日中友好の為の懸け橋になっておられる。彼女は仕事が忙しいけれども、ボランティアとして我々に教えて下さる。私は誰にも真似のできないすばらしい活動だと思う。かけはし会の中国人の出身地は様々で、吉林省、四川省、河南省、内モンゴル等。研修生もいるし、日本人と結婚している女性もいて、皆働いている。多くの人は日本語検定の資格を得るために一生懸命勉強している。働きながら勉強するのは大変。

日本で生活するには、日本語を話せる事が不可欠。生活の為に日本語を学んでいると言えるだろう。私は彼らと違う。私は中国人と知り合いになって、中国旅行の時中国人と中国語で挨拶したり交流をしたい。中国語を学ぶのは私の趣味の一つにすぎない。授業の時我々はテキストを使わない。毎回テーマが違う。天気、国際情勢、家庭、子供、仕事等。先生は次々と多くの話題を引きだして下さり、解りやすい。我々はとめどなく話をする。私は参加し初めのころ、中国人は話すのが速すぎて、彼らが何を話してるのか解らなく、家に帰ってから頭痛がした。最近だんだん慣れて、今は少し解る。でも話すのはまだあまり上手ではない。先生はよく中国語を学ぶ日本人に尋ねる。「この言葉、この文型、この文法は日本語で何と言う？」「…と…は違う？どうして？」たとえ我々が日本人でも、中国人に日本語を教えるのは難しい。我々は時々答えられなくて申し訳なく思う。

私はもう年を取っているので、勉強してもすぐ忘れる。先生はそれがわかっているので辛抱強く我々に言う。「いいよ、忘れても繰り返し話すのが大事、ゆっくり勉強しましょ！」授業の時上手に話せた時は、私は家に帰ってからすごく嬉しい、上手に話せなかった時は少し悩む。

毎年かけはし会はパーティをする。参加する日本人や中国人は30人程。パーティの時、我々は先ず餃子や冷菜を作る。本場の餃子を包むのは少し難しい。テーブルには沢山の中国料理、果物、お菓子が並ぶ。それから我々は食べながらおしゃべりをし、ゲームもしてとても賑やか。又、感想を発表する時は少し緊張する。でも毎回パーティが楽しい。

私がかけはし会に参加して最も嬉しいのは、多くの中国人や日本人と知りあえた事。皆年齢は様々だけど同級生だし、家族と同じで苦楽を共にする。ここは何時も和やかな雰囲気に包まれ、私は子供のように大笑いするので、顔のしわがますます増えてきた、どうしよう！皆のおかげでこのような有意義な生活が送れる。特に銭先生には感謝も尊敬もしている。我々の最終目標は流暢に日本語や中国語を話せるようになる事と日中両国の友好を深める事。我々は更に勉強を頑張る！

高兴的梦

佐々木　由利子

我一年做几次高兴的梦，但是最高兴的梦。就是我用汉语在梦里说话。开始学习汉语过了半年以后，我是第一次做这样的梦。这种感觉是从来没体验过，太高兴了。从那时开始早晚心情特别舒畅。以后每天晚上睡觉前，我都希望做用汉语说话的梦。

大家做过用汉语说话的梦没有？今天晚上一定会做一个好梦吧！

訳　楽しい夢

私は１年に何回か楽しい夢をみます。最も楽しい夢です。夢の中で、私は中国語を話しています。中国語を習い始めて半年経ってから、初めてこの夢をみました。この感覚は今まで体験したことがなく、とても嬉しかったです。それから、毎晩寝る前に、私は中国語で話す夢をみたいと願います。

皆さんは中国語で話す夢をみたことがありますか？今晩はきっといい夢をみますよ！

朱家角的回忆

高塚　俊代

这个三月我们老两口访问了上海。上海作为经济的中心飞速发展了。到处可以看到很多摩天楼，街上挤满了人群和车。离开那样的大城市的喧闹，我想去中国的悠闲的地方，那就是朱家角。

从旅游集散中心我们坐公共汽车一个小时左右去那儿。单程价格一个人是十二块，非常便宜。

朱家角是个风光明媚的水乡，这一带的运河就像迷宫一样交织在一起，沿运河的家家户户都有白墙和黑色的瓦，氛围闲适。我们跟上海的大学生一起坐船，费用一百二十块均摊了。船夫舵得好像威尼斯的情景。下船后，在河边的小路逛逛，看到很多摊子，餐厅和特产店，非常热闹。

午饭时我们吃馄饨和芝麻丸子，又好吃又便宜，可以说是大众的味道。

现在这儿还保留着清代的邮局和中药店，让人感到悠久历史。朱家角是都市的一块绿洲，所以希望这宝贵的地方能被维持下去。

栄町水曜夜クラス

《クラス紹介》

林　芳男・石井　勘之

２月から６月迄耐震工事の関係で、暫くの間栄町公民館から本町青少年センターにお世話になっています。４月からは初級Ｂクラスのメンバーも５名合流し、３・４・５年目の総勢15名の混成クラスとなっています。混成クラスで始まって１ヶ月足らず、王老師とも皆初めてで、まだ遠慮していますが“中国語を学ぶ”という同じ目的を持ち集うメンバーですので直ぐに打ち解けて、楽しいクラスになると思います。王老師の授業は丁寧で分かり易く、かつ新鮮です。

皆受講後３年以上の為、授業に対して様々な思いを持っていると思いますが、王老師を中心に大いに語り、活気溢れるクラスにしたいと思います。

《老師プロフィール》

王　錦涛

出身地	寧夏
誕生日	12月30日
来日日時	2003年３月
来日理由	日本語を勉強するためと 自分の視野を広げるため
中国出身学校	寧夏大学
日本出身校	文教大学大学院 言語文化研究科
日本での職業	中国語教師・事務
家族	夫
趣味	旅行

《老師的一句》

缘

王　錦涛

一转眼，我来到日本快十年了。与川口日中友好协会相识也快十年了。想一想感慨万千。

刚到日本第二年，就有缘在川口市日中友好协会教室带汉语课。看到有那么多喜欢汉语的同学在努力学习，努力使用掌握的单词语法会话，我感到非常高兴，也因此结识了许多朋友。后来因为工作关系很久没有在这里带课，但与在这里结识的朋友却一直保持联系。这让我在日本的生活变得更加丰富多彩。因此我要感谢有这样一个能和大家结识并且一起努力学习的机会。

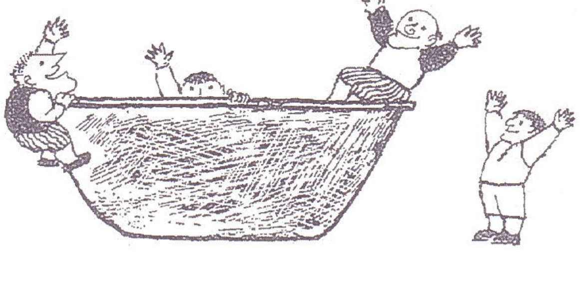
时隔多年，又能有缘在这里带课，我希望能结识到更多的朋友，能和更多的同学一起努力学习汉语、一起来认识中国。让我们一起快乐地学习吧！

訳　縁

あっという間に、来日してもうすぐ十年になります。川口日中友好協会とも十年の付き合いになります。振り返ってみれば感無量です。

日本に来て、二年目から縁があり、川口日中友好協会教室で中国語を教えることになりました。たくさんの人が熱心に学んだ言葉と文法を使って中国語で会話しようという様子を見ると、とても嬉しく思いました。友達もたくさんできました。その後、仕事の関係でしばらく教えてなかったのですが、知り合った友達とはずっとお付き合いをさせていただいています。それは日本での生活を更に豊かにしてくれました。このように、皆さんと知り合い、一緒に勉強できる機会に感謝しています。

何年かぶりにまた縁があって、ここで中国語を教えることができました。もっとたくさんの人と触れ合い、もっとたくさんの人と一緒に頑張って中国語を勉強し、中国を理解しましょう。一緒に楽しく勉強しましょう！



《受講生随筆》

セピア色の色紙

川俣　明子

随分前のことになりますが、勤務先の会社でテレビドラマの撮影がありました。タイトルは忘れてしまいましたが、俳優の長門裕之さんや中村玉緒さんなど有名な方が出演されていました。私達社員は興味深く撮影風景に見入っていたところ、突然、エキストラで出演することになってしまいました。ほんの少しの出番ではありましたが、貴重な体験をしました。ロケ終了後に長門裕之さんから頂いた一枚の色紙。

そこに書かれていたのが「人間万事塞翁が馬」でした。（じんかん　ばんじさいおうがうま）と読みます。

ある城塞のほとりに、塞翁という老人とその息子が暮らしていた。
ある日、彼ら親子の馬が突然逃げ出してしまったため、
周囲の人々は馬を失った親子を気の毒がったが、当の老人は、
「不幸かどうかは果たして分らんよ。もしかしたら良いことがあるかもしれない」と、平然としていた。
間もなく、逃げ出した馬は立派な名馬を連れて戻ってきた。
不幸が転じて幸運となったために、
周囲の人々は親子の幸福を感心したが、
老人はやはり平然として、逆にこう言った。
「もしかしたらこれが災いのもとになるかも知れない」
間もなく息子がこの馬から落ち、
脚が不自由となってしまったため周囲は同情した。
しかし老人はそれを見て、
「これが幸運をよぶことになるんだ」
と言い、一向に動じなかった。
その直後、戦争がおきて、町の若者がほとんど餓死したが、
脚を折っていた老人の息子は、そのお陰で命拾いをした。

という話が語源になっているようです。（資料より）

人生には測り知れない出来事が待っています。幸せなこと、辛いこと。でも、めげることはないよ。ラッキーがアンラッキーに、またアンラッキーがラッキーに……。ことあるごとに思い出す、大切な一枚の色紙。

「チャイナタウン神田」

林　芳男

「チャイナタウン神田神保町」……？

その文が目に入り、その雑誌を手にしさらに驚いた。1906年当時神保町界隈には1万人の中国人留学生がいたとのことである。当時の“日本”はそんなに魅力的だったのか？海外の日本に対する評価が落ちるにつれ日本への留学生も減り、また海外への留学を希望する学生も減る現在と比べ何が違うのか？

明治に入って40年足らず、東アジアの小さな島国“日本”が開国から僅か40年で日清、日露戦争に勝利し列強の末端に仲間入りしたこと自体、隣国中国の若者から見れば驚異だったに違いない。特に列強が傍若無人に利権を振り回す現状に義憤を感じる若者達は、日本は明治維新を成功させ、どのように近代化を進めたのか大いに関心があったに違いない。

その留学生の中には孫文や魯迅、そして蒋介石、その他辛亥革命の中心人物の多くは日本留学経験者であったという事実（1905年、革命の指導的役割を果たした中国同盟会は東京で結成された）。

その後周恩来も1917年に日本留学をしている。多くの留学生が神田神保町界隈に集まり、留学生のための諸施設もできる中、留学生相手の中華料理屋も出現し、全盛期には百数十件の中華料理屋が営業し、さながらチャイナタウンの様相を呈していた。また元々古書店が多く「本の街」としての神保町には中国関連書を扱う店も増えていった。その中華料理店や書店の何軒かは今も営業している。

慣習も食文化も違い、厳しい生活を送っていた中、遠く離れた異国の地で彼らは祖国を思い国の将来を憂いていた。そんな彼らに中華料理屋の存在は、遠い故郷を思う唯一の手段であったに違いない。

武昌での武装蜂起（辛亥革命の発端）が伝わると革命を目指す学生たちは一斉に帰国していった。そして清朝は辛亥革命で滅びていく。その後中国に対する日本の侵略とそれに対する中国の抗日運動（五・四運動）の高まりへと進んでいき満州事変、日中全面戦争へと突入していく。

戦後の日本はひたすら経済立国の道へと進み、やがて世界第2位の経済大国となる。一方の中国はというと、権力争いの末、毛沢東の文化大革命で内向きの度合いを強めていき、改革開放の父・鄧小平の出現を待たなければならなかった。現在の状況はどうか？日本は世界経済第2位の地位を中国に譲り、バブル崩壊からリーマンショック、東日本大震災、そして欧州通貨危機から来る超円高へと続き、すっかり自信を無くし内向き指向へと進んでいる。

中国は今や世界第2位の経済大国として国際的な発言力を高め、領土問題では時には強引とも思われる手法も取るようになった。

神田・神保町界隈では100年前のチャイナタウンの面影は見られないが「本の街」としての存在は健在である。今外国語を志す人達の第1位は中国語だという、正に逆転である。

100年前、日本に学べと大挙して留学した中国の若者達、そこから辛亥革命が始まり、五・四運動の導火線となっていった。結局日本は彼等にとって反面教師だったのである。

現代では、日本のバブル崩壊の教訓も、超高齢化社会へ突入した日本の将来の姿も彼らにとっては反面教師としての手本となっている。膨大な財政赤字を抱えいつ欧州と同じになってもおかしくない今の日本。

100年前の神田のように国を憂い、国家の再生を思い描く若者がいずれこの国にも必ず出現すると期待していきたい。

オモテ表紙写真説明：「箜篌(くご)」は百済琴(くだらこと)とも呼ばれ、中国古代の弾奏弦楽器の一つである。中国のプロ音楽関係者は前世紀70年代から楽器製作者とともにハープと中国の民族楽器の製作原理を参考にして、改良を行い、雁柱箜篌を開発した。雁柱箜篌は古代の竪箜篌(たてくご)の造型を踏まえて、側面琵琶の形態に照らして二面竪型共鳴箱を作り、古箏(こそう)の圧力発振原理を利用して共鳴箱の上に二列のホコーダーを作るとともに共鳴箱の後ろに二列の弦を揉む音を出せる圧力振動装置を付け、同時にハープの弦の長さ、弦の距離、音のプロセスの並べ方などの重要な科学的要素を取り入れて作ったものである。雁柱箜篌の琴体は琴台、琴柱、弦軸板、竪型共鳴箱（桐製）、二列のホコーダー、圧力振動装置、鳳頭、音を出す穴などからなるものである。琴の高さは1.78m、重さは40kg、7音の音階序列で、72本の弦（36本は同じ度の弦）がある。雁柱箜篌は現在、独奏、伴奏、合奏によく使われている。

ウラ表紙写真説明：正倉院御物　昔の「くご」

協会木曜朝クラス

《クラス紹介》

定兼　雅義・長島　悦子

私達のクラスは四月から新しい受講生を２名加え、男子受講生３名、女子受講生６名、計９名で運営しています。

中国語の学習も入門から７年目を迎え、日常会話には不自由無く話せるようになったのではと思われ勝ちですが、取っ掛かりの容易だった中国語も学べば学ぶほど奥が深い事を実感させられ四苦八苦しています。

しかし、クラスの雰囲気は和気藹藹でいつも笑い声の絶えない授業を行っており、毎週２時間の授業を楽しみにしている人達ばかりです。

今迄、青島、大連、北京と３回行った中国での実地研修も、話す機会が少なくタクシーの行先も専ら筆記で済ませた感があり、まだまだ勉強不足を感じています。

今年は、入門の時にお世話になった小原講師が指導してくださることになり気持ちを新たに日常会話を習得し、実地研修を筆記無しで行かれるようにクラス全員で頑張っています。

小原先生ご指導よろしくお願いします。

《老師プロフィール》

小原　春輝

出身地	陝西省西安市
誕生日	1月 28 日
血液型	B型
来日日時	1995 年 1 月
中国出身学校	西安外国語大学
日本での職業	非常勤講師
家族	四人家族
趣味	学习英语
来日理由	運命

《老師的一句》

每天有一些感动

小原　春輝

一直觉得自己不是一个多愁善感的人。用我母亲的话来说，我是一个“铁石心肠”的人。比如，小时候很少哭。看电视、电影也很少流泪或欣喜若狂。不管去哪里，与家人分别时也总是平平淡淡。不明白别人为什么抱头痛哭或泪眼汪汪。

一直觉得这就是自己，没有大喜大悲，也没觉得有什么不好。不是有一首歌也这样唱嘛“平平淡淡是最真”。

来到日本以后，一直觉得日本人或日本女性比较容易感动。比如，看到初春盛开的樱花，也会满脸喜悦地赞叹“真漂亮啊”。看到婴儿车里熟睡的小脸，也会发出一声“可爱”啊。甚至吃一顿很平常的饭，也会说“真好吃啊”•••••••••

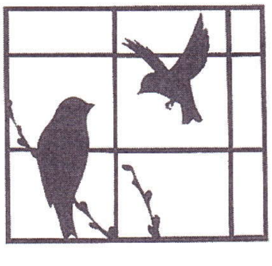
每逢这时候，我当然也随声附和地说着是，心里却想：日本文化真是细腻啊，我今生恐怕是达不到如此境界了。

岁月流逝，转眼我已来日已十几年了。人也不知不觉已过了不惑之年。

最近，我觉得自己变了，变得有些多愁善感了。我不知道是由于上了岁数的缘故呢，还是俗话说的“一方水土养一方人”，在这片感情细腻的土地上，粗犷如我，也经常身不由己地被感动着，每天，每天••••••

今天早起，出去慢跑。看见谁家迎风飘展的鲤鱼旗，就想： 这家一定有一个正在茁壮成长的小男孩，真幸福啊；迎面碰上了一位散步的老人，他低声说“早上好！”我也有些感动，因为我们并不认识；快到家门口时，门前伝右川里游着几条很大的鱼，它们默默地游着，悠然自得。我觉得这些鱼真了不起，它们也不抱怨什么，因为水并不很清洁。

感动，并不热烈，小小的。但我却因此喜悦起来。这些小小的感动，丰富了我的生活，给平淡的生活，增添了佐料，使我原本平平凡凡的日子，变得有滋有味起来。



《受講生随筆》

母と娘と中国語

小林　桂子

日中友好協会で中国語の勉強を始めて 1 年がたちました。初級クラスで丁老師にご指導いただき、楽しく中国語を学ぶことができました。ありがとうございました。

本年度からは協会木曜朝クラスに移りましたが、中国語の会話練習が中心になっていて、とても気に入っています。日常会話の習得を目指して、頑張りたいと思います。

今日は、娘の中国語学習について、お話ししたいと思います。娘は小学２年生。上海出身の夫の希望もあり、小学１年の２学期から中国語を習い始めました。

娘が通っている中国語学校は、日本で暮らす華僑の子供達のための補習校のようなもので、週に１回 90 分の授業ですが通っています。娘は中国語ゼロからのスタートでした。中国人の子供達の中で、どこまで授業についていけるのか心配ではありましたが、これまでの８ヶ月は、なんとか頑張って勉強しています。

最初はピンインから始まり、これは３ヶ月くらいで早々に終了しました。授業のペースはかなり早く、日本語と中国語の両方で行われますが、宿題は中国語で出されるため、親のサポートが必須の状況。頼りの夫は出張で不在になることが多いので、私が家庭で娘の宿題をサポートするために、毎回、授業参観して私も勉強しています。上海人の先生は厳しく、宿題は毎日あるので結構大変です。

また、ピンイン終了後は早速、漢字を習い始めていますが、これがまた厄介だったりします。日本と中国の漢字は同じだったり、そうじゃなかったり…。書き順も微妙に違うものがあったりするので、日本の小学校で勉強する漢字と同時進行で違いも覚えていかなければいけません。

しかし、子供の吸収力には驚いてもいます。 この前、娘が何気なくポロっと中国語で話しました。私にはその言葉の意味がわからなかった…。確かに、どこかで聞いた言葉だったけれど、えーと…なんだっけ？？？？？ 授業で先生が何度も口にしていた言葉…。週に１回 90 分という短い授業ですが、娘は吸収してくれました。一方、私は覚えても、どんどん忘れていく…思い出せない…なんとも情けない脳です。そのうち、娘には軽く抜かされるのでしょう。

中国語の習得は長い道のりになりますが、母娘、共に頑張って、続けていけたらいいなと思います。

上海有一个不可思议的博物馆

小林　直美

今天，我来介绍一个好玩的地方。 我去上海的时候，我每次一定去一两次。那是一个在参考手册上也找不到的小昆虫博物馆。里面有海豹、鲤鱼、还有 我从来没看到过的希奇的猴子，珍奇的昆虫、蛇、海龟、鳄鱼、山羊、等等。

如果你星期天去的话，可以投喂。还能看到蛇，鸟和动物的表演。我孙子非常喜欢这个博物馆，每周去一次。因为喜欢，他买有一年的免费入场卡。

但是，这个昆虫馆里面的光线暗，还有点儿臭。博物馆的名字虽然叫昆虫馆，但是里面有各种各样的动物，猛禽类、鱼、爬虫…什么都有。

这是个不可思议的博物馆。不过，我觉得是一个好玩的地方。如果你们有机会带孙子或者孩子去上海的话，我建议你们一定要去昆虫博物馆看看！

参观昆虫馆后，旁边还有东方明珠塔。而且，那边还可以一边看外滩的景色一边喝咖啡。或者，去好吃的意大利料理餐厅，怎么样？ 然后附近还有游览船。要是你们去玩的话，也一定会开心的。

勿改初志

后藤　和可子

我是这次入门班的副干事。和入门班同学 一起学习，很高兴。

“勿改初志”我也想好好儿学习。现在才痛感，发音不正确，虽然学了很多年汉语， 却常常不明白中国人说的话。

这回我想是一个好机会， 所以，不折不挠地加油。

訳　初心にかえって

私は、今回入門クラスの、副幹事をしています。入門の皆様達と一緒に学習出来て嬉しいです。

初心にかえって、私もしっかりと学ぼうと思います。現在は、発音が不適格であることを、痛感しております。長年学んだけれども、中国人の話が、良くわからない。

それなので、今回は良き機会だと思っております。挫けないで頑張ります。

我和中国

白根　晴代

我开始学习中文 2 年多了。听力也提高了一些，每天快乐地学习中文。

现在我对中国的情况越来越感兴趣。

中国有四千年以上的历史，是日本的老师。日本向中国学习了文化，艺术和医道等等。中国和日本有密切的关系。

我打算找个机会去中国旅游，多了解中国。因此我想继续学习中文。

訳　私と中国

わたしは中国語を学び始めて２年と少しです。聞く力も少し向上して、楽しく中国語を学んでいます。

今私は中国の事についてますます興味をもってきました。

中国は４千年以上の歴史があって、日本の師匠です。日本は中国に文化、芸術や医学などを学んできました。中国と日本には密接な関係があります。

私は機会を見つけて中国旅行をしたいし、中国のことをもっと理解したいです。そのためにも中国語を学び続けたいと思っています。

“活到老 学到老”

长岛　悦子

你们记得“老金、老银”吗？大约 20 年以前，她们成了日本中的话题。她们是超过一百岁的双胞胎姐妹。前几天，我在电视上看到了老银的四个女儿。大女儿今年 98 岁了。四女儿也 89 岁了。她们都身体健康，大脑的智力一点儿也不衰退。听说，四女儿 60 岁的时候，拿到了汽车贺驶证，而她现在也开着车。她们都喜欢听国会转播。我们星期四汉语班开始学习汉语已经第七年了。同学们都拼命地学习。除了学习汉语以外，他们有各种各样的爱好。比如说，写毛笔，打太极拳，种花草，学习英语什么的。而且，开始向新的事物挑战的人也有。我喜欢听他们说这些事。喜欢听新鲜有趣的事。“活到老学到老”这句话，对我来说是重要的目标。

有没有快乐的刺激？

土屋　孝一

大家有没有文化冲击的经验？ 23 年前我受到了文化冲击，由于在中国初次看到的光景。那是平日早上在繁华街里充满着穿中山装的人们，广大的天安门广场和富有历史的故宫等。

以此为转机，我希望进一步加深了解中国，之后，我有机会在川口中文教室开始学习中文。中文越学越难，可是不知为什么我喜欢中文。

虽然，我们都希望自己到什么时候也身心俱健而且能过快乐的生活。我也希望这样。可是谁也没有那样的保证。

为了度过身心俱健而且快乐的生活，我认为必须给身心经常适度的刺激。对我来说幸亏有快乐的刺激，那就是学习中文。我喜欢的句子是“活到老，学到老”。

今年也在精彩的小原老师下，我想跟同学们一起快乐地学习中文。

小原老师和同学们今年也请多多关照！

訳　楽しい刺激がありますか？

皆さんはカルチャーショックの経験がありますか？ 23 年前、私は中国で初めて見た光景にカルチャーショックを受けました。その光景は平日の朝から繁華街に溢れる人民服の人々、広大な天安門広場、そして歴史に富む故宮等です。

これを契機に中国についてもっと理解を深めたいと思っていました。その後川口中国語教室で中国語の勉強を始める機会を得ました。中国語は勉強すればするほど難しいけど、なぜか中国語が好きです。

ところで、私達はみんな自分だけは何時迄も心身とも元気で、楽しく人生を送ることができると信じています。私も同じ想いです。でも誰にもそんな保証はありません。

心身とも健康でかつ楽しい生活を過ごすためには、常に心身に適度な刺激を与えることが不可欠だと思います。 私には幸い楽しい刺激があります、それは中国語の勉強です。私の好きな言葉は「生きている限りは勉強」です。

今年も素晴らしい小原先生の下で、クラスメートと一緒に楽しく中国語を勉強したいと思います。

小原先生とクラスメートの皆さん、今年も宜しくお願いします。

活到老 学到老

森　基悦

佐藤一齐先生在《言志四录》中有这样一段名言:

“少而学, 则壮而有为;
壮而学, 则老而不衰;
老而学, 则死而不朽。”

以这段话激励自己, 进入汉语教室过去了六年了。当初热情逐岁减退，近来是前进一步后退两步的现状。

最近在相原茂先生的著作中读到一段话：

“学习外语贵在坚持。
即使边学边忘, 也要坚持。
总之就是要不离不弃。
稍有机会就学。
做到这点很重要。”

我深受鼓励, 下定决心今年也要继续努力。请多多指教!

訳　生命ある限り学ぶ

佐藤一斎先生の《言志四録》にある：

“少にして学べば、即ち壮にして為す事あり。
壮にして学べば、即ち老いて衰えず。
老いて学べば、即ち死して朽ちず。”

この言葉に背を押され、中国語教室の門を叩いて六年経ちました。当初の意気込みも年とともに減速、一歩前進二歩後退の昨今です。

最近、相原茂先生の著書の中で見つけた言葉：

“外国語は続けることです。
学ぶそばから忘れてもいいから、それでも続けること。
ともかく離れないこと。
かすかな縁でも持ち続けること。
これに尽きます。”

この名言に励まされ、今年度も精進すると決めました。ご鞭撻下さい。

協会木曜夜クラス

《クラス紹介》

田村　由美

私たち木曜夜クラスは、王梅先生の工夫された内容で、毎回充実した時間を過ごしています。文法を特定しながらの听写や翻译（日本語を中国語へ）に始まり、各自の近況やテーマについての会話と質問、教科書を使うが、教科書に使われない授業など。

一度是非のぞきに来てください。大歓迎です。

《老師プロフィール》

王　　梅

出身地	湖北省武漢
誕生日	3月16日
来日日時	1994年10月
出身大学	上海外国語大学
家族	主人と二人
趣味	テレビドラマ鑑賞
夢	穏やかな人生を送る
血液型	B型

《老師的一句》

桂花飘香的时节

王　梅

在埼玉，9月底到10月初，桂花遍地开放，到处充满香甜馥郁的气味，令人陶醉。每当闻到这桂花的香味，我都会感到愉快、新鲜和给力，心头涌上美不可言的滋味。

1994年10月1日，我作为留学生第一次来到桂花飘香的埼玉，借住在南与野一个朋友家。第二天，借了朋友的自行车，一个人跑大学、市政府和银行，去办理各种手续。

毕竟是初来乍到，途中好几次迷了路，可不管询问哪个过路人，都亲切地为我指路。而在办手续时，大学、市政府、银行的办事员也都热情地接待我。多亏了他们，所有的手续都在当天顺利地办完了。试想一下，如果在中国办这些手续，不仅一天难以办好，还会受办事员不少窝囊气。

这一天，日本人的亲切态度、日本公共机构的良好服务让我感触颇深。激动之余，对未来的新生活也充满希望和信心了。回家的路上，桂花的香味沁人心脾，合着满腹的希望和信心，都深深地刻在了心里。

从那天起过去18年了。当然，18年的历程是不平坦的，曾多次尝受意想不到的挫折。但是，每年一到桂花飘香的时节，那天的经历就会在眼前浮现，而那经历带给我的充满希望和信心的心情，就会在心头复活，如果时值身陷困境，我会鼓起奋斗的勇气；如果正处于顺境，我会感到更加幸福。

正因为这样，我总是欢快地迎接桂花飘香的时节。

訳　金木犀の香りが漂う頃

埼玉では、9月末から10月初めにかけて、至るところで金木犀が咲き、甘くてすがすがしい香りがあちらこちら漂い、人を気持ちよく酔わせます。金木犀の香りを感じる度に、自分の心には、楽しさと新鮮さと強さが伴う、何とも言えない良い気持ちが蘇るのです。

1994年10月1日、留学生として初めて、かぐわしい金木犀の香りが漂う埼玉に来て、南与野の友人の家に下宿しました。翌日、いろいろ手続きをするために友人の自転車を借りて、一人で大学や市役所、銀行を回りました。

初めての土地なので、途中何度も道に迷いましたが、道行く人に聞く度に優しく道を案内してもらいました。また、大学や役所、銀行で手続きをした際、スタッフは誰もみな親切に対応してくれました。そのおかげで、すべての手続はその日の内にスムーズに完了しました。考えてみれば、中国ではそんな手続きをするには、一日で済むことはなく、職員の不機嫌な顔で気分が滅入ったことが逆にありました。

その日は、日本人の優しさと、日本の公的機関のサービスの良さを快く体験しました。感激のあまり、未来の新生活に対して、希望と自信が満ち溢れるようになりました。帰宅の途中、金木犀の香りがじわじわと沁み渡り、溢

れた希望と自信にあいまって、深く心に刻まれました。

その日から 18 年の歳月が経ちました。もちろん、18 年間の道程は決して平坦なものではなくて、予想もつかない挫折感は何度も味わったものです。ところが、毎年、金木犀の香りが漂う頃になると、あの日に体験したことと、それによって希望と自信に満たされた気持ちが、思わず心に浮かんできて、ピンチに陥る自分であれば、立ち向かう勇気を奮い起し、順調な自分であれば、幸せを倍に感じます。

そんなわけで、金木犀の香りが漂う頃を、いつもわくわくして迎えるのです。

《受講生随筆》

2011 年　曲阜・泰山・済南の旅

田村　由美

2005 年は上海周辺をリュック担いでふらふらした。2006 年は行きと帰りの北京のホテルだけをネットで押さえて、現地のツアーに参加。2007 年は高すぎる格安航空券を手に、鄭州・洛陽へ飛んだ。北京オリンピックの 2008 年は北の地、大連・長春・瀋陽へ。2009 年は常春の都、昆明・大理・麗江へ。2010 年はあこがれの九寨溝・成都へ２人で。そして、2011 年は、山東省済南を拠点にと旅立った。

１．北京経由

昨年あこがれの地を踏んだので、なかなか予定も定まらず、結局近場で曲阜・泰山を目指して飛行機を取るも、直行便は売り切れ、往復北京 1 泊ずつ経由のチケットを確保。この際だから、北京の友人にも会ってしまえと連絡を取って旅立った。

北京はオリンピックの前以来だから、驚いた。首都空港から、「机场快轨」が出てる！終点で地下鉄に接続。楽々市内へ。

北京駅を背にしてホテルへ。北京駅前は見なかったからどう変化したかはわからない。友人が待っていてくれて合流。こういう行き方もまた楽しい。

翌日、ふたたび地下鉄から机场快轨に乗って空港へ。一路、済南を目指す。

２．済南

済南空港でスムーズにバスに乗るが、どこへ行くかは？うまく駅のバスタ

ーミナルで降ろされたので、バスをチェック「机场・80 元・流水」。そのまま歩いてすぐのホテルへチェックイン。いつもどおり駅まで行ってみる。今回は列車の旅はないが、駅ごとに違う時刻・座席などの掲示板を見に行く。ホテルにはツアーデスクがなかったが、聞いてみたらツアーがあった。2 日目曲阜と 3 日目泰山を予約。大明湖に行くには、BRT に乗れ、といわれて出かける。ぼーっと湖を見て、駅で冷えたビールを買う。夕方になると路上に店が増えてなごやか。済南の第一印象は洗練された感じがあって結構都会的だと思ったけれど、都会じゃないみたいで楽しい。

3．孔子のふるさと

第 3 日目、いつもより高めのホテルで朝食付き。朝食のメニューが多い。

大厅で言われたとおり待っていると、ドアマンみたいなお兄さんと目が合う。お互い何回か目を見合わせていたら、その人は私をツアーバスまで案内してくれるホテルの人だった。研修生みたい。駅前でバスを探してくれて、ガイドに引き渡される。曲阜へのツアーガイドさんは、出席を取る。「○○老師 4 位！」（○○さん御一行 4 名）てな具合。3 時間近く乗って、曲阜に到着。

ここは、三孔と呼ばれる孔子のふるさとである。まずは孔庙へ。その後、隣の孔府へ。ここは孔一族の住まい。以前、承徳への列車の中で、北京大学に通うお姉さんと会話したときに、「曲阜は名字が、孔、孔、孔！」と言っていたのを思い出す。

そのあと、レストランに案内され自己做饭。なんだか個室に紛れ込んだら、4 人の 2 組の親子連れと一緒になってしまった。「私たちは 4 人、彼女は 1 人（とレストランの人に言い、私を見て）…一緒に食べる？」と誘ってくれた。ラッキー！感謝感謝。一汤九菜、丸いテーブルの食事！（一人だと滅多に食べられない）広州から来たそうで、「日本から一人で来たの？通訳なしで？すごいね」と言ってくれた。この方達にはこの後もお世話になる。

食後は、孔林へ。林の中にポツポツと石碑が建ちまくる。ミャンマーのバガンのよう。石碑には第何代とか刻んであるのが見える。電気自動車に乗って、中を走って孔子のお墓に。4 人組のお母さん、「ここは写真はだめだよ」と眠る仕草をしてくれた。

ツアーなのでその後、お店を二つ回る。お茶の店と、木魚石の店。

バスの中で、ガイドが 15 元追加と集金。よくわからないけど、みんな払っているから払うと「真好！」どういう意味かな？と首をかしげると「OK」と。説明も（私はわからないけど）丁寧で安心できるツアーだった。

4．神の住む山

第 4 日目は朝早いので、朝食が出そろっていない。山に行くので、パンと飲み物を買って、小さいリュックに詰めておいた。またまた昨日のお兄さんがバスまで連れて行ってくれる。「傘持ってるか？」と聞いてくれた。バスに乗り込んだら、昨日の 4 人組さんとまた一緒だった。なんだかちょっとうれしい。

泰山のある泰安は、曲阜よりも近い。今度のガイドさんは、お客に番号をつけた。私は 15 号。4 人組のお母さんが「あなたは 15 号よ」と教えてくれる。聞き取れていたけど親切がうれしい。ありがとう！

さて、曲阜と違ってここは「山」だ。登らなければならない。ガイドは一緒に行くのかどうか？必死で話を聞く。入り口で泰山行きのバスに乗り、中天門で降りた。昨日よりツアーの人数が多い。ガイドは、「登るならこの階段、2 時間くらい。ロープウエイはこっち、料金は自腹」「～～に 12:30 集合」と言った。確認すると、「漢字はわかるか？」と「12:30 南天门宾馆门口集合」と書いてくれた。「最後には中天門に 3:00 だよ」とも。4 人組さんは、ロープウエイへ。よし、ここまで来たら登ってしまえ、と階段を上がり始めた。行けども行けども天まで続くような階段をせっせと上り、休み、上り、休み。木々には赤いひもが結んである。途中のほこらには、なぜか南京錠がたくさんつけられている。これはおみくじや絵馬みたいなものらしい。

赤い南天門が見えたときは、うれしかった。

集合場所に行くと、ガイドさんがいたので声をかけた。「我现在到了！」

ガイドさんと階段に座ってみんなを待っていたら、4 人組さんが「もうご飯食べた？」と声をかけてくれ、「食べるとき探したんだよ」と言ってくれた。時間がなかったので、パンをかじってお昼にした。

そろったら、ガイドさんと天街へ。前方にかすむ玉皇顶。真下は崖、雲ってみえないけれど。神秘的な雰囲気の中、ガイドさんが説明しながら、進んでいく。有名な大きな石壁の前を通り、有名な石の前で写真撮りたければ「排队」と言われ、頂上で解散。山頂付近でおじさんが丸い木の玉にへたくそな字で「泰山」と掘ったものを売っていたから、この山頂で買ったのだからと記念に買ったら、笑顔で「一路平安！」

天街まで戻ったら、大雨。

今度は下りなくてはならない。時間がない！雨はすぐ上がったけれど、ぬれた石段を、せっせっと下り始める。転ばないように、でも急いで。

本当にがんばった。必死で下りた。足がパンパンを通り越した。（この後大変な事になる）最後は足がガクガク、でも 3:00 前に着いた。50 分でおりた自

分をほめてしまう。

ツアーだからお店に寄る。1つ目は竹炭の店。2つ目は昨日も行った木魚石の店。再び同じ説明を聞くのだ。4人組さんに「昨天来了」と声かけたら「又来了」と返ってきた。

済南に帰るバスの中で、16歳の男の子が前に座っていて、こちらを興味津々で見ている。会話が始まり、半分以上通じないけれど、高校生は鄭州から済南に親と遊びに来て、このツアーは子供だけで参加したそうだ。「この日本語知ってる？」と聞く言葉が「大阪」だったり「さみしい」だったり。きっと日本のアニメやゲーム文化から来てるんだろうなと思う。途中から隣のおばさんも会話に参加して、発音を直してくれる。「中国のドラマは、日本でやっているか？」とか、「中国では日本のドラマをテレビでやっている」など。楽しいひととき。趵突泉のところで、高校生は下車したけれど、最後まで手を振ってくれた。こういう若者が交流を進めていってほしいなと思った。

また駅前で降ろされ、ガイドにお礼を言って、駅前の食堂へ。水餃子を頼んだら、やっぱり洗面器みたいなうつわに山盛り。食べきれません。

5．泉の都

第5日目、市内行動の日である。しかし！足がひどい筋肉痛だ。

朝食はツアーがないので、ゆっくり行くと、食べものがたくさん出ている。ワンタンを発見。まだ作ってないけど、明日は食べるぞ。

地図を見ながら、市内バスの行動開始。中国銀行を探すが、ないので、大きな農業銀行の入り口に「外貨交換」とあるから、両替と言うと、お姉さんわからないので、入り口まで引っ張っていき看板を指さす。お姉さん、あわてて窓口のおじさんに言いに行く。中国銀行以外で外貨両替は初めて。

バスを乗り継いで、黄河公園へ。黄河まで下りて水にさわる。

また乗り継いで、趵突泉へ。本当に水がポコポコ湧いている泉がいくつもある。町は緑が多く、水豊かという風情。

途中の外資系の大きなスーパーで、食べ物を買って、五龙潭公园へ。趵突泉ほどではないが、泉が湧いている。しかし、足がパンパンで一歩踏み出すのも痛い。歩けばもっとたくさんの泉を巡れたのだが、痛くて歩けない。初めに行った大明湖へ。湖では船に乗るのが好きだから、高いし、乗客一人だったけれど、湖を渡る単程票を買って乗った。途中歴下亭のある島による。15分たったら出発だよといわれ、涼しい風に吹かれてから、対岸へ。BRTでホテルへ戻った。

翌日は、朝食でワンタンのところに行って、お姉さんに指さすと、作る人

がまだ来てないらしい。食べながら見ていたら、コックさんが来て、できたら手招きしてくれて、ワンタンを食べられた。退房して、バスターミナルへ行く。「流水」だから安心していたけれど、早めに出てよかった。9:00 発の券を売ってくれた。バスが出るのはどこの場所かと聞くと、番号を教えてくれた。結構時間があったので待っていたら、お兄さんが誘ってくる。ニコニコしてわからない振りをしてやり過ごし、8:40 に来たバスに乗り込む。無事飛行機に間に合った。

北京は暑かった。再び友人に電話して、合流。また駅前のホテルへ。もう足が大変。痛くて痛くて…。

翌早朝、地下鉄と机场快轨を乗り継ぎ、北京から日本へ戻った。

6.まとめ

以前昆明に行ったときは住むならここだと思ったが、済南は大陸の東端の方にあり、都会的な雰囲気もありながら、水と緑が豊かで潤いのある素敵な町で、ここもいいなと思った。

山と名のつくところには近寄らないようにしていたけれど、中国の山は信仰や神話の対象で、歴史と人々の想いがたっぷりつまっている気がする。泰山は、遙か昔から、中国の皇帝達が、神様に皇帝である事を認めてもらう儀式をしたところで、それも納得のいく場所だった。

ツアーのガイドさんや 4 人組の方達や高校生も親切で、町の人もよく話を聞き取ろうとしてくれた。駅近くのお店で、飲み物を買ったときに、いくらか聞いて、ぴったり出せたら、「真好！」と言われたとき、曲阜のガイドさんもそう言ってたな、真好ってこういう時に使うんだな、と実感できた。

市内の行動も自由にできたし、ツアーはほぼ完璧だった。ただ、足がガクガクで筋肉痛がすごかったのがなければ、市内行動も、もっとできたかもしれない。北京から済南に行くのに、列車の旅もしてみたかった。

ほとんど言われた事の半分も聞き取れないが、みんなどんどん話しかけてくれて、人々の親切に多く触れることができた。

どんな場所に行っても、それぞれの土地にそれぞれの魅力があって、それぞれの人々の生活があり、興味が尽きない。刻々と変わっていく中国の姿を実感することもできる。

さて、中国は広い。実は行きの飛行機は大連経由で、大連で入国。いったん下りてふたたび乗ったら同じ飛行機なのに国内線。泰山からの下山で歩けないほどの筋肉痛。いろいろあるけれどくじけず、行くところはたくさんある。知らないこともたくさんあり、感動は私を待っている。次はどこへ行こうかな。

協会金曜朝クラス

《クラス紹介》

黒澤　宣捷

私のクラスは、女性６名、男性１名、計７名です。受講生の中には仕事の都合で早退せざるを得ない方や、毎回出席することができない方もおりますが、受講できなかった授業を自習したり、あるいは何とか時間をやりくりして受講するなど本当に真面目に、熱心に勉強をしています。

また、授業内容を常に創意工夫し、自らも貪欲に学ぶ姿勢を持っておられる唐老師の下で、明るく、楽しく、とても和やかな雰囲気のなかで学ぶクラスです。

ともかく語学の習得は“根気よく継続する”ことにあります。皆さん、頑張りましょう。

《老師プロフィール》

唐　光蓮

出身地	中国山東省
誕生日	7月29日
来日日時	1998年7月
中国出身校	中国人民大学
日本での職業	非常勤講師
家族	四人家族
趣味	登山，読書，旅行
来日理由	夫の仕事のため
血液型	O型

《老師的一句》

登泰山看日出

唐　光蓮

我在大学二年级暑假时，同几位好朋友一道，登上了向往已久的“泰山归来不看岳”的泰山。

泰山位于山东省泰安市，海拔 1545 米， 是中国五大名山中的东岳。人们向往泰山，不只是因为它的人文风光，更是因为它的日出云海奇景。

为了能欣赏到日出，我们下午六点就开始登山。俗话说，夏日的天，象孩儿的脸---说变就变。刚才还是晴朗的天，突然就下起了雨。我们立刻穿上早就预备好了的雨衣，毅然决定继续爬山。我们大约走了半个小时，雨停了，太阳出来了。夕阳西下，阳光透过树木的缝隙，照在山间小路上，山间的溪水哗啦啦地流着，树上的许多不知名的小鸟儿叽叽喳喳地叫个不停，构成了一幅美丽的风景画。登山途中，不时能看到一些小亭阁，亭阁里还有许多名人字画。我们一路上欣赏着这人文和自然的恩赐，好像置身于仙境一般。

晚上九点钟我们到达中天门，那里已聚集着许多来自全国各地的人，其中 年轻的大学生居多。大家都三五成群，或者打扑克牌，或者聊天。我们也拿出准备好的扑克牌一直打到半夜，然后继续前行。因为雨过天晴，夜间的天空格外晴朗，繁星闪烁，似乎伸手可及。从中天门到山顶南天门要爬 7000 级台阶。据说一层层的石台阶都是泰山挑夫们从山脚下用肩膀挑上来的一块块石头砌成的，我们轻装上阵已经累得气喘吁吁了，禁不住让我们佩服泰山挑夫的伟大！

凌晨四点左右我们来到了南天门，稍作休憩，接着向日观峰冲刺。在日观峰，等了不一会儿，天边露出了鱼肚白，太阳渐渐露出了红红的笑脸，一片片的云海，像一层层厚厚的棉被，托着太阳冉冉升起，周围响起了一片欢呼声！大家摆好姿势，伸出手，选好角度，好像把太阳托在手里，轮流拍照，留下这美好的一瞬。

我曾经在海边看过日出，也曾在富士山上看过日出。但要说日出云海美景，还得是泰山的日出。多少年过去了，有些细节我已经淡忘了，但大自然给予我的那份感动却深深地印在我的脑海里，令我终生难忘。

訳　泰山で日の出を拝む

大学二年生の夏休みに、私は何人かの友人と一緒に、憧れの泰山に登りました。“泰山から戻って来たら、ほかの山を登らなくてもいい”という説があります。

泰山は海抜 1545 メートルで、私の故郷である山東省にあります。中国の五大名山の一つ“東岳”とも呼ばれています。人々が泰山を最も憧れるのは、泰山の日の出と雲海を見ることです。

日の出を観賞するために、私たちは夕方六時に登山を始めました。“夏の日は、子供の顔のように変わりやすい”ということわざの通り、さっき晴れていたのに、突然雨が降り始めました。私たちはすぐに、準備したレインコートを着て、迷わず登山を続けました。三十分ほど歩くと、雨が止み、太陽が出てきました。夕日は西に落ち、太陽の光は木々の隙間から、細い山道を照らし、渓流はさらさらと流れ、木の上では名の知らない多くの小鳥がさえずり、とても美しい風景でした。登山途中、時々小さな楼閣も見ました。楼閣には有名人の書道や絵画がありました。私たちは、自然の贈り物を観賞し、おとぎの国にいるように感じました。

私たちは夜九時に中天門に到着しました。その時、そこでは全国から多くの人々が集まっていて、主に若い大学生たちでした。みんなは、四、五人の小さなグループになって、トランプをしたり、おしゃべりをしていました。私たちも用意したトランプを真夜中までやりました。その後また登り始めました。夕方、雨が降ったおかげで、夜空は冴え渡り、星はきらきらと瞬き、手が届くように感じられました。中天門から南天門の頂上までは、7000 段の階段を登らなければなりません。石段は荷担ぎ人夫が山のふもとから、石のブロックを一つずつ頂上まで運んで、作られたものです。私たちは身軽で登っても、すぐに息が切れ苦しくなるのにと、泰山の荷担ぎ人夫の偉大さを改めて感じさせられました。

朝四時ごろ私たちは南天門に到着し、少し休憩して、最後に日観峰に向かってラスト・スパートをかけました。日観峰でしばらく待っていると、地平線がほのぼのと白みはじめ、太陽は徐々に赤い笑顔を出して、厚い毛布のような雲海は日の上を徐々に昇ってきました。周りに歓声があがり、みんなは手を差し伸べ、太陽がちょうど手のひらにのるように、ポーズを取り、交代で写真を撮り、この美しい瞬間を残しました。

私は海辺で日の出を拝んだことがあります。また富士山頂上で日の出を拝んだこともあります。でも日の出と雲海といえば、やっぱり泰山の日の出です。何年かが経ちまして、詳細を忘れてしまいましたが、自然からいただいた感動は決して忘れることなく私の心に深く残っています。

《受講生随筆》

学汉语

黑泽　宣捷

我对中国非常感兴趣，退休后我想学汉语，因为我想看中国小说，还想跟中国人交流，所以开始学汉语了。

我有几位中国朋友，其中三位是在日本大学毕业后，在日本企业工作，另外两位住在中国，有时来日本出差，他们来日本的时候，我们一定见面并一起吃饭，每次我们都用日语交谈，因为他们像日本人一样日语说得很流利。

我在汉语教室学了几年汉语，可是和他们用汉语说话，还是将来的事。但为了达到目标，我想更加努力学汉语。

訳　中国語の勉強

私は中国に大変興味を持っています。退職したら、中国の小説を読めるように、また中国人と交流したいと思っていたので、中国語の勉強を始めました。

私には中国人の友人が数人います。そのうち三人は日本の大学を卒業して日本の企業で働いています。また他の二人は中国に住んでいて、時々出張で日本に来ます。彼らが日本に来た時は必ず会って一緒に食事をするのですが、毎回いつも日本語での会話です。なぜなら彼らは皆まるで日本人のような流暢な日本語を話せるからです。

中国語教室に通って数年が過ぎました。しかし彼らと中国語で話すのはまだまだ先になりそうですが、目標達成のために更に努力したいと思います。

「地震的重建」
“中国记者看日本”

加藤　美智子

3月13日，我看了 NHK “地震的重建”这个电视节目。去年12月，一位中国的中央电视台记者来到日本。他叫崔永元，他采访并向中国转达日本地震灾害后的重建情况。

在中国崔记者是一位受国民欢迎的电视节目主持人。他主持的节目是“小崔说事”。首先，为了采访，他来到了宫城县。他跟中国人留学生见面，采访了他们参加

志愿者活动的情况。其次他来到东京。他跟住在日本的中国人见面。他采访日本发生地震后媒体是怎样向在住的中国人转达地震的消息的呢？他还采访了东京的防灾设施，体检了防灾训练。

然后，他来到福岛。在福岛，他对当地的报纸很感兴趣。报纸上有放射能检查，避难所等等的消息。在日本，民营组织可以发行报纸，可以自由地发出消息，这让他大吃一惊。

最后，他留下了几句话:

地震不管发生在中国，还是发生在日本，都是人类的灾害。对震灾漠不关心，不管在中国，还是在日本，都是人类的耻辱。对震灾进行救济，不管在中国，还是在日本，都是人类的光辉。

訳　「震災後を歩く」“海外ジャーナリストが見た日本”

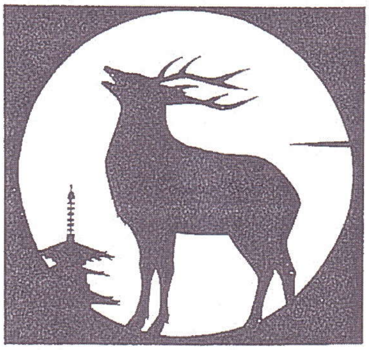
3月13日、私はNHKのテレビ番組「震災後を歩く」を視た。昨年12月、中国中央電視台の崔永元キャスターが来日し、東日本大震災後の復興の様子を中国に伝えるために取材した番組だった。

崔記者は、中国で国民的人気のある番組「小崔说事」の司会をしている。崔記者は、はじめに宮城県で中国人留学生のボランティア活動を取材した。次に、都内で、在日中国人に、「地震情報がどのように伝わったのか」を取材した。また、都内の防災施設を訪問し、防災教育を体験した。

福島では、崔記者は、放射能検査や、避難場所などの情報を伝える新聞に関心を示した。日本では、民間組織が新聞を発行し、自由に情報を発信できることに驚いていた。

彼は、最後に、このような言葉を残した：

地震は、中国で起ころうと、日本で起ころうと、それは、人類の災難です。無関心でいることは中国にとっても日本にとっても、それは、人類の恥です。救済は、中国で行われようと日本で行われようと、それは、人類の輝きです。



協会金曜夜クラス

《クラス紹介》

長澤　博高・小山　実子

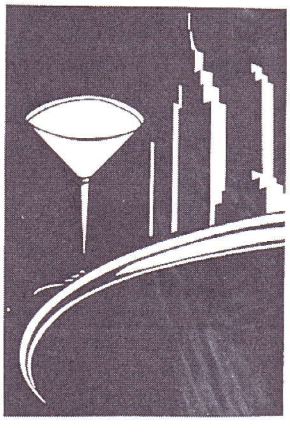
金曜夜クラスは2009年4月に入門クラスから2名、初級クラスから5名が集まり、計7名でスタートしました。この年に退室した人があり、クラス存亡の危機になり、幹事の加藤恵一は人数集めに必死でした。その後、毎年数人の入室があり、現在の人数は12名です。

呉先生のていねいなご指導で毎回楽しく中国語を学んでいます。授業の前に発表の時間があり、四コマ漫画や歌を中国語で発表したり、また各人の一週間の出来事を話したり楽しい雰囲気です。皆さん見学に来てください。

《老師プロフィール》

呉　英偉

出身地	ハルピン市
誕生日	12月17日
来日日時	1994年5月
中国出身学校	山東大学
日本職業	大学講師
家族	夫と二人
趣味	旅行、音楽、読書
来日理由	本当の日本を見たいから
夢	世界周遊
血液型	O型



《老師的一句》

快乐学汉语

吴　英伟

大家好!

我是星期五晚上班的老师吴英伟。我们班男同学多，女同学少，所以在一起喝酒、聚餐的机会比较多。大家的共同爱好是学汉语和聚餐。每位同学都很认真地学习，上课认真听讲，下课好好复习、预习。我常常被他们的学习精神所感动。上课时气氛也很热烈，大家提的问题水平都很高。所以我在上课前得好好作准备才行。

我从去年 4 月开始在两所大学教中文，现在的日本大学生学习汉语的人很多，他们学习汉语的目的跟我们川口汉语教室的同学不太一样，主要是为了将来在工作中有机会使用。另外听说要是会说汉语，在找工作时也是很有利的。

不管是成人还是大学生，大家都对汉语感兴趣。我每天上课都在很愉快的气氛中度过，非常感谢大家。让我们今后也快乐地学汉语吧!

《受講生随筆》

早いもので……

矢澤　昭人

私の部屋の壁には、入門教室の終了証書が額に入って飾ってあります。久々に、じっくり見ていると日付は 2008 年 3 月.... ということは、入室は 2007 年の 4 月で…2008 年、2009 年…今年は 2012 年…。あれあれ、もう 6 年目!! いや～石の上にも何とかですが…。よくもまあ、毎週毎週頑張ってこれました。

特に、遊びではなく語学で長続きするとは入門の時はまず考えていなかったと思います。これはひとえに、同学の皆さんと、熱心にご教授いただいている先生のおかげです。この場を借りて感謝・感謝!!

今後も、個性の強い同級生の皆さんや我々にはもったいないくらいの熱心で素敵な先生と、楽しく実りのある勉強をして、実力をつけていきたいと思いますのでよろしくお願いします。

中国語教室と電脳塾

山田　絹子

４年前“北京オリンピックを見よう”という CM につられ大画面 TV を購入しました。その流れで NHK の“TV で中国語講座”を見始め、翌年には協会の中国語会話教室に参加していました。この４年程、歴史の好きな私は沢山の中国の歴史物の映画や TV ドラマを観ました。上野の国立博物館の故宮清明上河图展や河南省の“誕生中国文明”展の大イベントにも行って、観て感動しました。私の昔の中国への想いはきっと、フランス人やアメリカ人が日本の武士道や柔道に憧れて来日するもガッカリして帰っていく…！それに似ているのかもしれませんが…。

電脳塾にも参加させていただきました。今まで息子達のセットアップしたパソコンを使っていた私は、ワープロ機能、写真の修正と加工以外、日常生活にたとえると、クローゼットやタンスの引き出しから物を取り出したのは良いが、部屋中メチャクチャになって、何処にしまえば良いのか、最後には何を捜していたのさえ解らなくなるような状態でした。この頃は、丁寧に教えてくださる先生方のお陰でキチンと元の場所に収納される心地よさを感じられるようになりました。ほんとうに多谢！！

それでもパソコンはちょっと触らないと操作を忘れたりします。汉语学习と同じですね。

私達クラスでは授業の始まりに各自、中国語で発表する時間を作っています。各自の一週間の身辺の出来事や、リアルタイムの話題が意外に、後々になっても記憶に残っていて老师も、同学们も、お互いの理解にも役立っていると感じます。また、授業前にちょっと中国語の歌を練習してみようとか、希望者で呉老師の故郷の哈爾濱への旅行なども計画中です。

今期からは新同学们も二人増え、ますます、個性的に、楽しいクラスになって行くでしょう。

学汉语

加藤　惠一

我学了将近六年的汉语，我觉得汉语越学发音越难。有原因就有结果。我不擅长背诵课文，脑海里想不起来单词。我们汉语老师常常说“提高汉语水平一定要十年。”谢谢老师的鼓励。

提中国名言“好好儿学习，天天向上。”以后我想更真地学习。

日本的现状

加藤　展裄

日本位于亚洲的东部，与中国自古以来交流频繁。“日本国”就是“日出之国”的意思，由于传说日本是由“天照大神”创造，日本国旗就是来源于此。

日本东临太平洋，国土由本州、北海道、九州、四国四个大岛和多个小岛组成。日本有 1 亿 2 千多万人口，其中城市人口大约 75%，日本是一个多山的国家，山地面积占全国面积的 76%，闻名世界的富士山是日本的最高峰。它山的优美的山容使游客入迷。

虽然国土面积不大，但日本是现在世界有数的经济发达国家之一。著名的索尼电器、丰田汽车是享誉世界的日本名牌，但近几年受到强烈地震的影响，景气的呆滞不前，经济面临危机。我们应该渡过这样的危机。

川口市的历史

加藤　展裄

江户时代川口的中心被称为“川口宿驿”，作为有驿站的村镇繁荣兴盛起来。这个地区是幕府直辖领土，被伊奈氏置于统治之下。伊奈氏为打下德川氏的根基，修复河川，建设水路等，做出了贡献。

在江户时代，川口的传统产业铸造业，纺织业，安行植木以外钓竿、酿造黄酱很兴盛。尤其是铸造业因为离消费地江户很近，锅等的日用品的制造增加，在幕府的末期作为军事产业制造武器了。

明治四年因为废藩置县的制度成为埼玉县，明治七年从川口宿驿成为川口町，这个明治时代是铸造产业飞跃上升的时代。在明治二十年代开通了铁路，明治四十三年川口町车站开始运营，川口的产业大大增长了。

昭和八年把横曾根村、南平柳村、青木村和川口町合并，川口市成立。又合并了安行村、户冢，平成二十三年合并了鸠谷市。

现在有五十八万人口，面积为六十二万平方米的新川口市起动了。

訳　日本の現状

日本はアジアの東部にあり、中国とは古来より交流が頻繁にあった。「日本国」とは「日出ずる国」を意味し、伝説によると日本は「天照大神」によって創造され、また日本の国旗はここから来ているといわれている。

日本は東に太平洋を臨み、国土は、本州、北海道、九州、四国という 4 つの大きな島の他、小さな島々により形成されている。

人口は約1億2000万人でその内75%が都市の人口である。山地面積が国土の76%を占める日本は山岳国である。世界に名高い富士山は日本の最高峰で、その姿は日本を訪れる観光客を魅了している。

国土面積は広くないが、現在の日本は世界有数の経済力を有している。ソニー、トヨタは世界に誇る日本ブランドだが近年大震災の影響もあり、経済は低迷し、我が国は厳しい状況にある。私達はこのような危機を乗り切らなければならない。

川口市の歴史

江戸時代、川口の中心は「川口宿」と呼ばれ宿場町として栄えた。この地域は幕府直轄地で関東郡代の伊奈氏の支配下となる。伊奈氏は河川の改修、用水路の建設など徳川氏の基礎を築くのに貢献した。

この江戸時代に川口の伝統産業である鋳物業、紡績業、安行の植木の他、釣り竿、味噌醸造も盛んになった。中でも鋳物業は、消費地江戸に近いことから鍋釜などの日用品の製造が伸び、幕末には軍事産業として兵器製造が行われた。

明治4年廃藩置県により埼玉県に、明治7年川口宿から川口町になり、この明治時代は、鋳物工業が飛躍的に伸びた時代である。明治20年代に鉄道が開通し、明治43年川口駅が開業、川口の産業は大きく伸びた。

昭和8年川口町と横曾根村、南平柳村、青木村を併合して川口市に、さらに安行村、戸塚を、平成23年には鳩ケ谷市を合併した。

現在人口58万人、面積約62万㎡の新川口市がスタートした。

为什么？

石毛　嘉春

2012年1月10号我在中国长春市内的传统乐器店买了二胡。我问老板可不可以把二胡寄到日本。因为二胡是在华盛顿条约上有的乐器。因此，我跟老板这样说，老板回答："没问题，我以前曾经寄横滨的高校。你放心吧。"我相信他说的话，给他3,000块。直到现在我还没有收到二胡。为什么？老板，您怎么啦。

1. 2012年1月15号

我还在中国，我想到国内名胜古迹去观光一下后，回日本。预订飞机，预订酒店都办好了。那些名胜古迹是洛阳、开封、郑州还有南京各城市。我高兴地看地图。

1月22号，突然我手机，响了手机里说 ：“对不起，洛阳的酒店发生了问题，24号起服务员都回老家。”为什么 ？我怎么办呢 ？

你好！LET'S 温故知新！

佐藤　可成

我々現代人と古人は生きた時代こそ違うが、人間としての営みは全く同じではないでしょうか？人間として、社会人としての悩みや葛藤。古人は古典の中にそうしたものを解決するためのヒント（道）を残してくれたと思います。今回はその中から少しだけ日中友好協会の皆さまに一方的に紹介します。

幾つになっても何かしら新しいことに挑戦すべし！気力を無くしたらこの言葉を思い出して奮い立ってください。

不学便老而衰（近思録、宋 960-1279）
まなばざればすなわちおいておとろう
学ばざれば便ち老いて衰う
「何かを学んでいないと、すぐ老いてしまいますよ。」

奮い立ったらこの言葉。中国語の道も単語一つから…。

不積<u>足頃</u>歩、無以至千里（荀子、戦国時代末期 AC403-AC221）
きほをつまざれば、もってせんりにいたるはなし
積<u>足頃</u>を積まざれば、以って千里に至るは無し
「千里の道も一歩から」

それでも中国語勉強がはかどらない、気力が湧かないという人は、心積もりとしてこの言葉を常に腹中に置いとけば、気持ちが少し楽になります。

天下不如意、恒十居七八（晋書、晋 280-420）
てんかはいのごとくならざるもの、つねにじゅうにしちはちはいる
天下は意の如くならざるもの、恒に十に七、八は居る。
「この世には自分の想い通りにならないことが１０の内７、８は在る」

最後に、ここまで古典から学べと言っておきながらこの言葉を紹介するのは心苦しいですが、私が個人的に思う、これが中国古典の真髄だ！

君之所読者、古人之糟粕魄己（荘子、戦国時代中期 AC403-AC221）
きみのよむところのものはこじんのそうはくのみ
君の読む所のものは古人の粕魄のみ

「君の読んでいるものは、昔の人のカスみたいなものだ。（車職人曰く、職人技というものは口では伝えきれません。同様に昔の偉人の真意も書では伝えきれない筈です。だからあなたが読んでいる古典も昔の偉人のカスみたいなものだ。）」

中国先輩！お見逸れ致しました。

同学们

大场　纯

我的同学们有12个人。同学们好像都生活个性性健壮。我们班每次有个人的发表，全班同学都感到为难。老师好像很享受我们的辛苦。

我们班一年有3次联欢会，另外有几个同学还时常聚会喝酒。我也不讨厌喝酒所以常常参加。这个黄金周在川口五个人聚会了。我们计划去中国旅行的事。会费是三千日元，我不记得是怎么回家的了。

訳　同級生

私達の同級生は12人です。全員個性的で逞しく生きているようです。クラスは毎回、個人の発表があり、それぞれ苦労しています。先生はその苦しみをとても楽しんでいるようです。

クラスは年3回ほど懇親会をしていますが、そのほか有志が時々集まり飲んでいます。私も集まりが嫌いではないので参加することがあります。最近ではゴールデンウィークに5人が川口に集まりました。話は計画している中国への旅行のことが多かったです。会費は3,000円で、どのようにして家に帰ったか覚えていません。

日本語教室

黄山が呼んだ

平山　安次

2006年1月の或る日、昼ご飯を食べようと座った私の目の前に、一通のはがきのダイレクトメールが置いてあった。家内がポストから持ってきたんだなと思って、手に取ってみると、旅行会社からの中国旅行の案内で、杭州－西湖－屯渓－黄山の四日間の旅の案内である。以前旅行社のツアーで、雲南省の昆明－麗江－雲杉坪（玉龍雪山の展望台）－大理－石林のコースに参加したことがあるので、また送ってきたらしい。昔から山好きだった私達、黄山も以前から一度は行ってみたいと思っていた所。値段も国内旅行より安い。家内に「行くか？」と聞いたら「行きたい」と言う。それで出発日を選んで、旅行社に電話をかけた。「コース番号が〇〇〇〇〇で、出発日が3月20日なんですが…」しばらく置いて、受付の彼女曰く、「コース番号は〇〇〇〇〇ですか？」「はい、そうです」と言うと、彼女はさらに聞く「お客様、今、何をご覧になっていらっしゃいますか？」へんなことを聞くなと思いながら、「お宅から来た旅行案内です。」と言ったら、「少々お待ちくださいませ。」と言葉が切れた。しばらくして、「はい、分かりました。杭州－西湖－屯渓－黄山のコースでございますね。3月25日出発の分でしたら、お受けできますが」出発日は何とかなりそうなので、「じゃあ、それで二名お願いします」と言って、こちらの住所、氏名等を告げて予約を終えた。しかし、なぜか相手の言うことが腑に落ちないので、家内に「このはがき、君がポストから持ってきたんだろう？」ときくと、「知らない」と言う。私もそれに一度も触れた記憶がないのだ。

このメール一体何時送って来たんだ？メールをざっと見たが、老眼なのでよく見えない。虫眼鏡でよく見ると、あった、あった、小さな文字で2005と書いてある。

「えーっ、去年の？いったい、何時、どこから出てきたんだ？」このメールを取っておいた記憶もなく、多分、去年から何かの間に挟まっていて、何かの拍子に机の上に落ちたのだろうと思うのだが、何一つわからない。狐につままれたような不思議な気分。しばらく考えて、フッと気分が変わり、私は家内に言った。

「そうだ、これは黄山が私たちを呼んでくれたんだよ。きっと、素晴らしい天気にしてくれると思うよ」そして、3月25日出発。

屯渓（現在は黄山市）の町歩きはたのしかった。二日目、ロープウエイの

乗り場で待っている時、二匹の猿が 2 メートル程の近くまで寄って来て、私たちを歓迎してくれた。日本の猿よりも大きく偉そうな顔をしていた。

黄山は、一年に 400 日は雨が降るといわれている。そして有名なのは、あの雲海、しかし、初めていく者にとっては、やはり、天気が一番だ。

果たして私達が登った時は、思った通りの快晴。大小 72 の峰があるといわれているが、そのすべてが眺められたと思う。奇峰、奇岩、松、そのすべてが美しく、そして雄大。特に西側にある夕日の展望台「排雲亭」の少し先から眺める「大渓谷」と呼ばれる V 字形の深い谷は、雄大で、見飽きることのない程素晴らしかった。

日本の山道と違うところは、黄山の山道は、そのすべてが階段なのだ。岩山なので、階段がなければおそらく登れないと思うが、それにしても、天まで続くかと思われるほどの階段、よくぞ彫ったものだと思う。

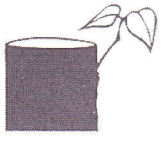
ロープウエイを下りてから、その日に泊まる北海宾館の前を通り、先程の「排雲亭」までは比較的平らな道だったが、そこから先「飛来石」への道は、いったん階段をぐっと降りて、また、ぐっと登る階段が見えている。それを見て、そこから先をパスした人も数人はいたようだ。私達は、オプションのコースも歩き「飛来石」も登って来たので、ホテルに着いた時は、さすがに足が痛かった。

三日目、杭州の西湖周辺を散策した時にも、まだ、足を引きずっている人が多かった。家内も、時々、私につかまって歩いていた。

四日目、帰国して西川口駅の階段を下りる時も、彼女は私につかまって下りた。

家に戻ってしばらくすると、家内が「あーっ」と声を上げた。どうしたのかと思って見ると、家内の足がパンパンに浮腫んでいて、押した指の跡が 1 センチ以上、深く残っていた。以前から、家内は塩分を少し多く取っただけでも浮腫むタチなのだ。

食パンのみみをたべても「ああ、塩の味がする」と言い、調理にほとんど塩は使わないし、また、食の細い人なのだ。家内が言う、「あの階段を見たら、これは沢山食べなくちゃ歩けないと思って、ガンバッテ食べたの。でも、家に着くまで足を見ないでよかった。もし見たら、きっと歩けなくなったと思うわ」これは、黄山がくれたささやかなプレゼント。きっと「家に帰りつくまで、見てはいけないよ」と言ってくれたんだろうと思っています。



編集後記

金環日食を見られましたか。厚い雲間を縫って神秘的な天体ショーの始まりです。日食グラスで見た太陽は、意外にも満月よりずっと小さく感じて驚きました。雲隠れした太陽は、逆に雲がフィルターになって肉眼でも綺麗に見えました。また辺りが薄暗くなり、肌寒さを感じるころ、群れを成したカラスが鳴きながら北のねぐらに帰って行きます。金環食が始まり、8階のベランダから地面を見下ろすと、老いも若きも、道行く勤め人も、グラス片手に太陽を見上げ、地上の動きは止まりました。自然は素晴らしくもあり、脅威でもあります（地震・津波など）。明るさが戻り、気温も上がるにつれて、カラスの群れが帰ってきました。小首を傾げながら♪かれらは何を想ったのでしょうか。

入門Ｂクラスの開講が遅れているために、原稿を頂けず、第 34 号「にいはお」原稿の集まりを心配しましたが、おかげさまで例年よりページ数が多くなりました。理事長・事務局長・教室代表・老師・新同学・老同学・会員の皆様“衷心感謝！”

アイディアマンの前田稔夫さん、珍しい“签後”の表紙と想い出に残る画報を“多謝！多謝！”強力な助手の内野繁子さん、お知恵拝借頼もしいです。真夜中に知恵が浮かぶ本多路子さん、「教室の決まり」を改訂し、「受講生名簿」も作ってくださり、ありがとうございます。

公私ともども超多忙にもかかわらず、快くレイアウトや赤字など夜を徹して訂正してくださった田村由美さん、心から敬服いたします。

入門クラスの幹事を引き受け、新同学から「にいはお」の原稿をたくさん集めてくださった森基悦さん、後藤和可子さん、心から、“多謝！”

皆々様にこの場をお借りして、御礼申しあげます。　市東 文子

2/11　11 年度総会・岡村会長（川口市長）

2/11　11 年度総会・岸理事

2/11　11 年度総会

2/11　張成慶参事官

2/11　新春懇親会・田中県会長

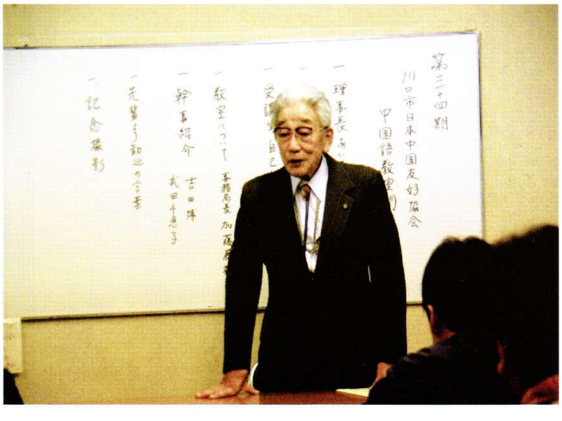
2/11　かんぱ〜い

2/11　新春懇親会

4/05　34 期入門 A 開講式・栗原理事長

4/05　34 期入門 A 開講式

4/05　34 期入門 A 開講式・本多教室代表



5/06　34 期入門 B 開講式・栗原理事長

5/06　34 期入門 B 開講式

5/06　34 期入門 B 開講式・本多教室代表

5/06　34 期入門 B 開講式

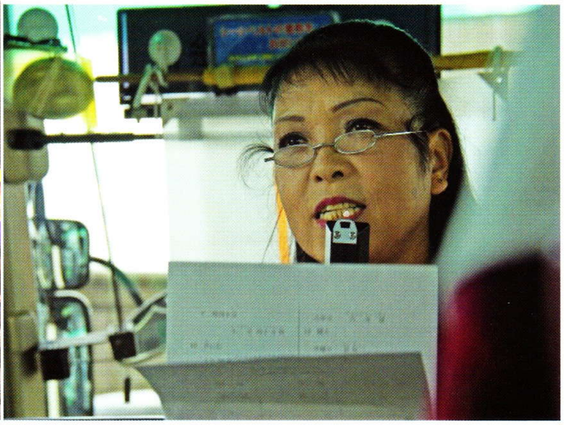
5/11　33 期入門 B 修了式

5/11　33 期入門Ｂ修了式・栗原理事長

5/11　33 期入門Ｂ修了式

5/11　33 期入門Ｂ修了式

08/05　川口親子教室　大使館訪問



08/05　川口親子教室　大使館訪問

08/05　川口親子教室　大使館訪問

08/05　川口親子教室　大使館訪問

08/05　川口親子教室　大使館訪問

08/05　川口親子教室　大使館訪問

08/05　川口親子教室　大使館訪問

08/07　たたら祭り

08/07　たたら祭り

08/07　たたら祭り

10/02　中国語発表のつどい（県日中田中会長）

10/02　中国語発表のつどい（県日中）

10/02　中国語発表のつどい（県日中）

10/02　中国語発表のつどい（県日中）

10/02　中国語発表のつどい（県日中）

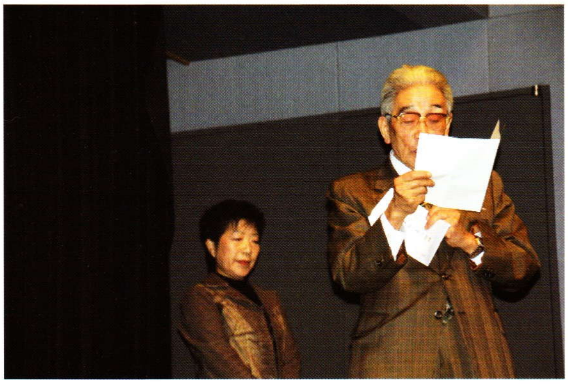
大使館会食会

大使館会食会

大使館会食会

大使館会食会

11/13 中国映画鑑賞会



11/13　中国映画鑑賞会

11/13　中国映画鑑賞会

11/13　法人会出展（子供中国語教室）

11/13　法人会出展

11/13　法人会出展

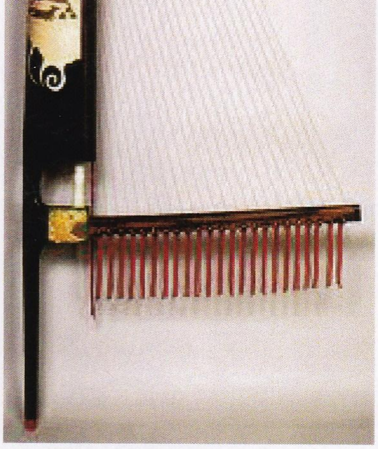
12/23　教室忘年会・岡村会長

12/23　忘年会景品チェック

12/23　栗原理事長挨拶

12/23　教室合同忘年会

12/23　教室合同忘年会



にいはお 第34号

2012年6月20日
編集:中国語教室広報部
発行:川口中国語教室
〒333-0845
川口市上青木西1-20-3
川口市産業文化会館308号
TEL 048-253-2177

川口市日本中国友好協会